

市民アンケートについて (速報値)

日本人市民アンケート	…p.1
外国人市民アンケート	…p.30
共通設問の集計結果比較	…p.64

2026年 9 月 4 日
大津市多文化共生・国際室

日本人市民アンケート 結果概要

調査概要

調査目的

日本人市民の外国人や外国文化との関わりや、外国人市民や国際交流に対する考え方、日本人市民と外国人市民が共に安心して暮らすために必要であると感じていることなどを把握し、多文化共生施策の企画・立案に活用する。

調査概要

調査対象	16歳以上の日本人市民2,000人
調査方法	Webアンケートシステム
調査時期	2026年6月17日（水）～7月17日（金）
回答数・回答率	244件 回収率：12.2%

調査概要

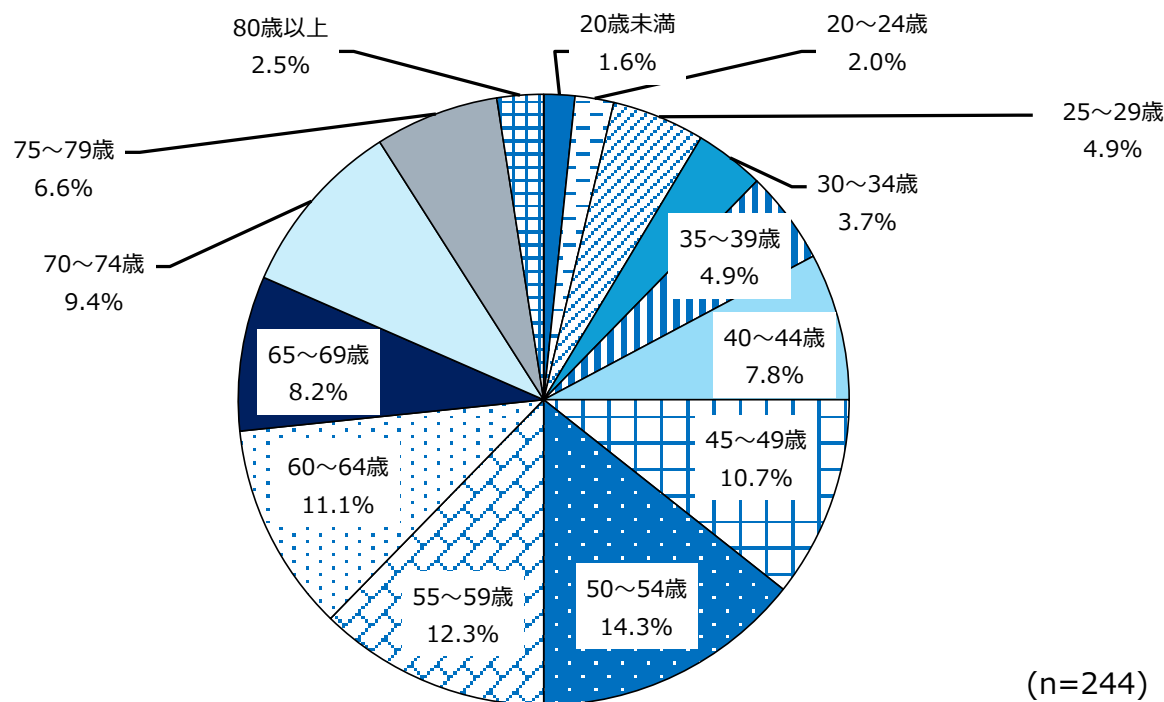
調査項目

あなたのことについて	● 年齢、性別、居住地、大津市での居住年数 ● 自身や家族に外国にルーツを持つ人はいるか
外国人や外国文化との触れ合いの機会について	● 外国人との普段の関わり ● 外国語や外国の文化に触れる機会
外国人市民に対する考えについて	● 地域に外国人市民が増えている実感 ● 外国人市民との交流への意欲 ● 地域の外国人市民が増えることに対する思い ● 外国人市民との関わりで良かった経験、困ったり戸惑いを感じたりした経験
日本人市民と外国人市民が共に安心して暮らし、活躍できる地域社会づくりについて	● 共に安心して暮らし活躍できる地域社会にしていくことの重要性、取組の必要性 ● 日本人市民・外国人市民・市役所は何をしたらよいと思うか ● 企業や大学等の外国人を受け入れている機関の役割 ● 自身が参加できる取組
国際交流について	● 姉妹友好都市との交流事業について ● 海外の外国人との交流への関心 ● 海外の外国人と交流する機会の重要性 ● 国際交流に関する市役所の今後の取組
今後の取組のアイデア等	● 外国人市民との共生や国際交流の取組へのアイデア

主な調査結果：基本情報

問1 あなたの年齢をお答えください。

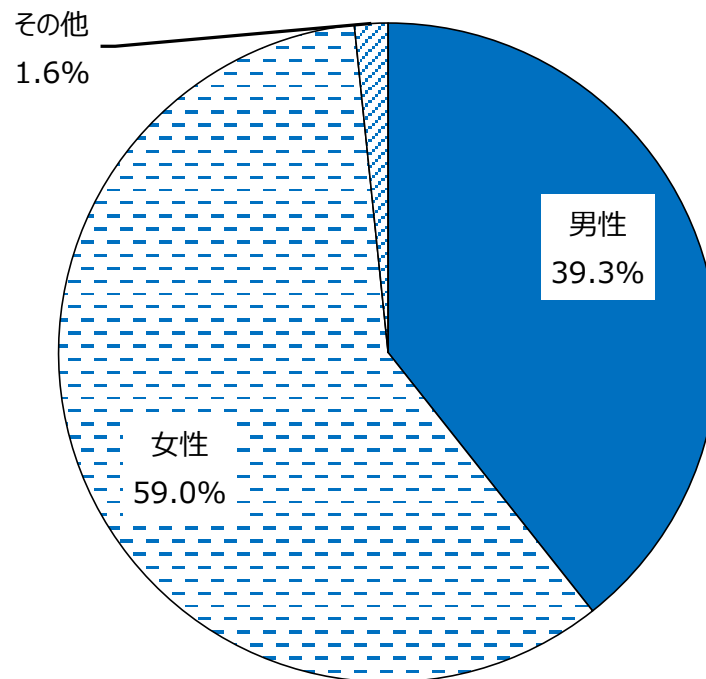
「50～54歳」が最も多く、次いで「55～59歳」、「60～64歳」となっている。



主な調査結果：基本情報

問2 あなたの性別を教えてください。

回答者の割合は男性が約4割、女性が約6割となっている。



(n=244)

主な調査結果：基本情報

問3 あなたの住んでいる小学校区をお答えください。

回答者の在住エリアは、「平野」が最も多く、7.0%である。次いで、「膳所」が5.7%、「堅田」が5.3%となっている。

小学校区	件数	割合
小松	4	1.6%
木戸	2	0.8%
和邇	7	2.9%
小野	4	1.6%
葛川	0	0.0%
伊香立	3	1.2%
真野	5	2.0%
真野北	7	2.9%

小学校区	件数	割合
堅田	13	5.3%
仰木	1	0.4%
仰木の里	6	2.5%
仰木の里東	3	1.2%
雄琴	4	1.6%
日吉台	2	0.8%
坂本	11	4.5%
下阪本	8	3.3%

小学校区	件数	割合
唐崎	11	4.5%
滋賀	9	3.7%
比叡平	2	0.8%
長等	12	4.9%
藤尾	2	0.8%
中央	3	1.2%
逢坂	8	3.3%
平野	17	7.0%

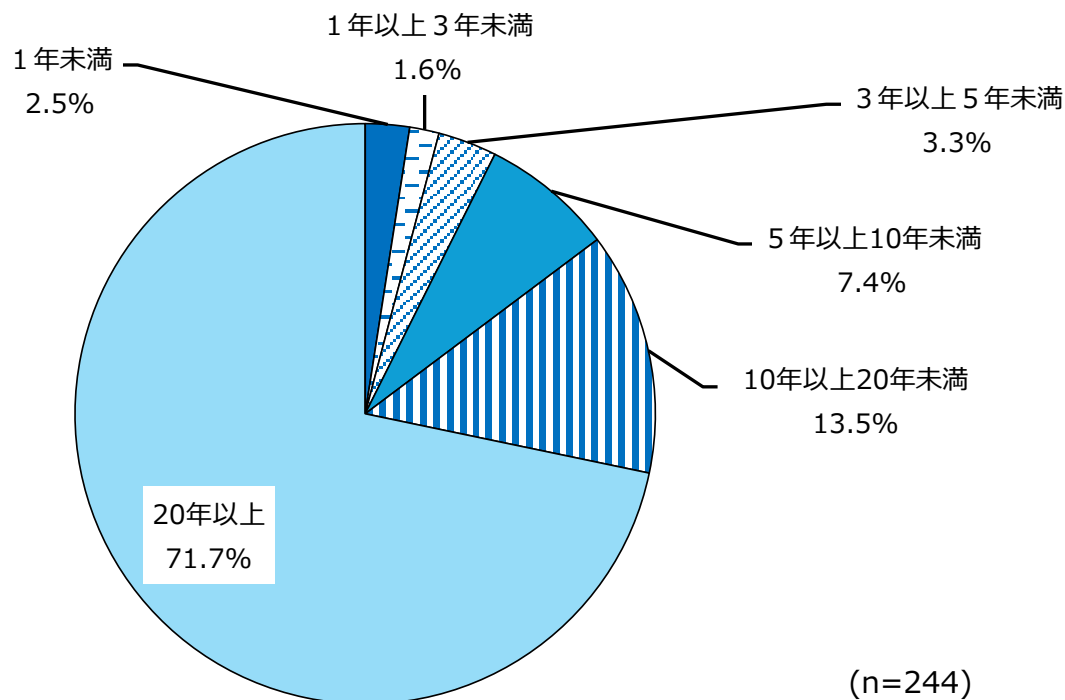
小学校区	件数	割合
膳所	14	5.7%
晴嵐	6	2.5%
富士見	8	3.3%
石山	11	4.5%
南郷	9	3.7%
大石	1	0.4%
田上	8	3.3%
上田上	0	0.0%

小学校区	件数	割合
青山	9	3.7%
瀬田南	6	2.5%
瀬田	11	4.5%
瀬田北	8	3.3%
瀬田東	8	3.3%
わからない	1	0.4%
無回答	0	0.0%
計	244	100%

主な調査結果：基本情報

問4 大津市に合計で何年住んでいますか。

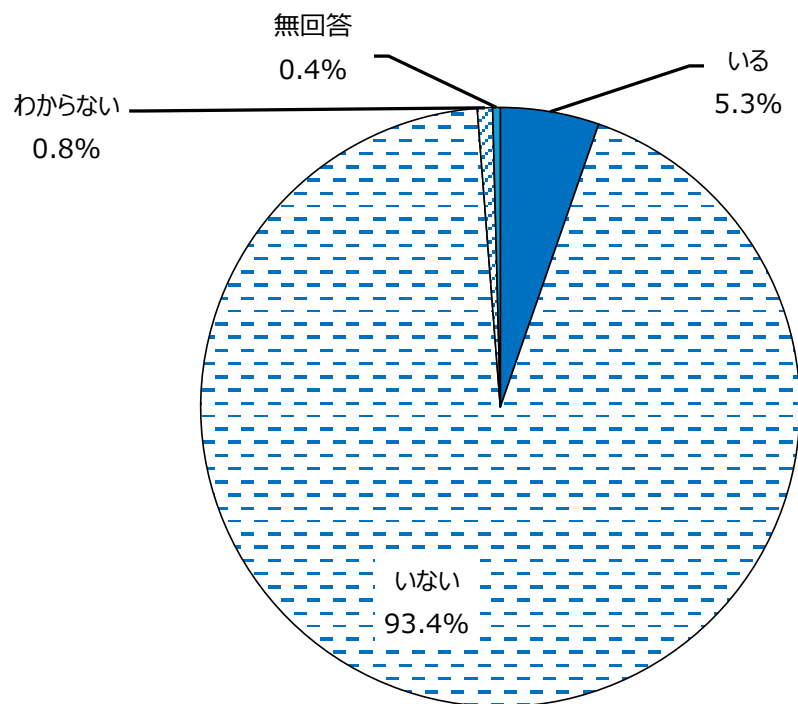
「20年以上」が最も多く、次いで「10年以上20年未満」、「5年以上10年未満」となっている。



主な調査結果：基本情報

問5 あなたやご家族（親・子・祖父母など）の中に、外国にルーツを持つ方はいますか。

「いない」の割合が93.4%、「いる」の割合が5.3%となっている。

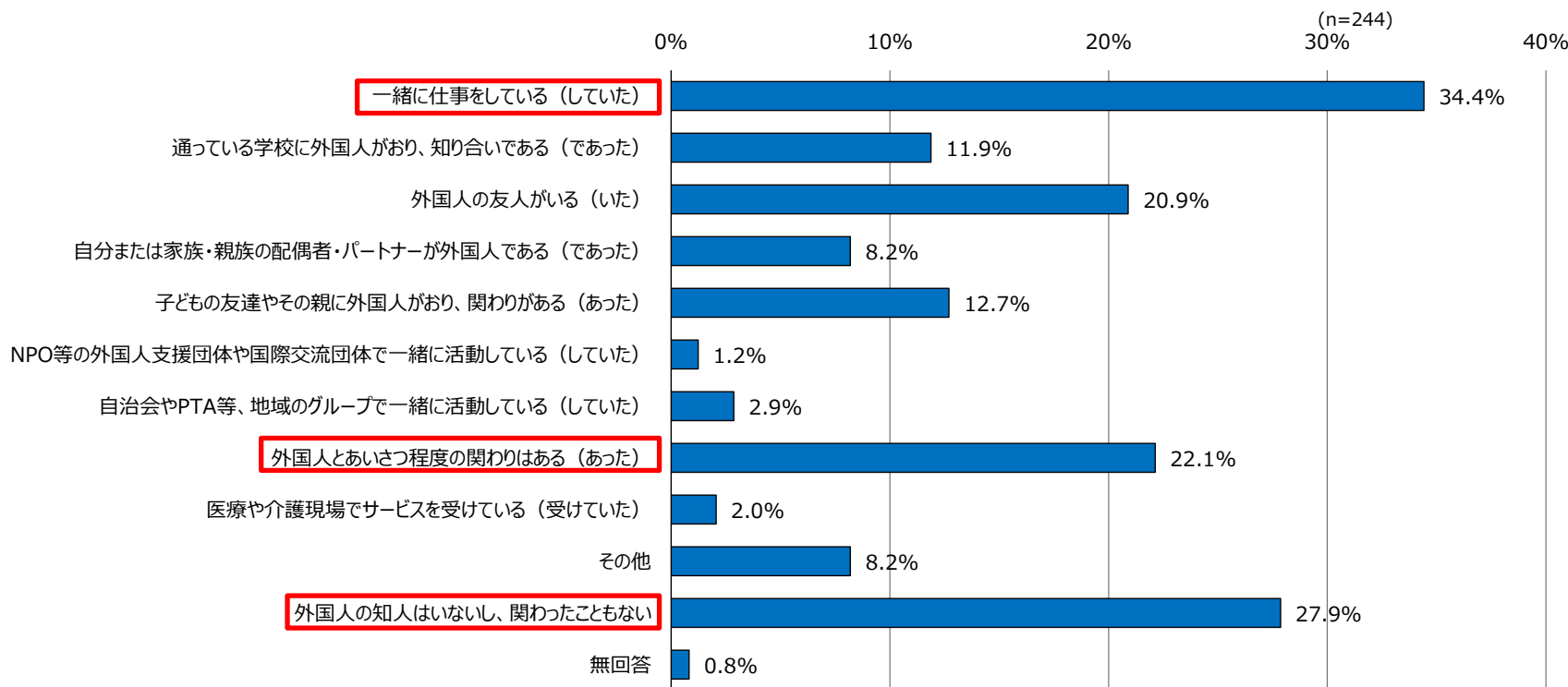


(n=244)

主な調査結果：外国人や外国文化との触れ合い

問6 あなたは普段の生活で外国人との関わりがあります（ありました）か。（複数回答）

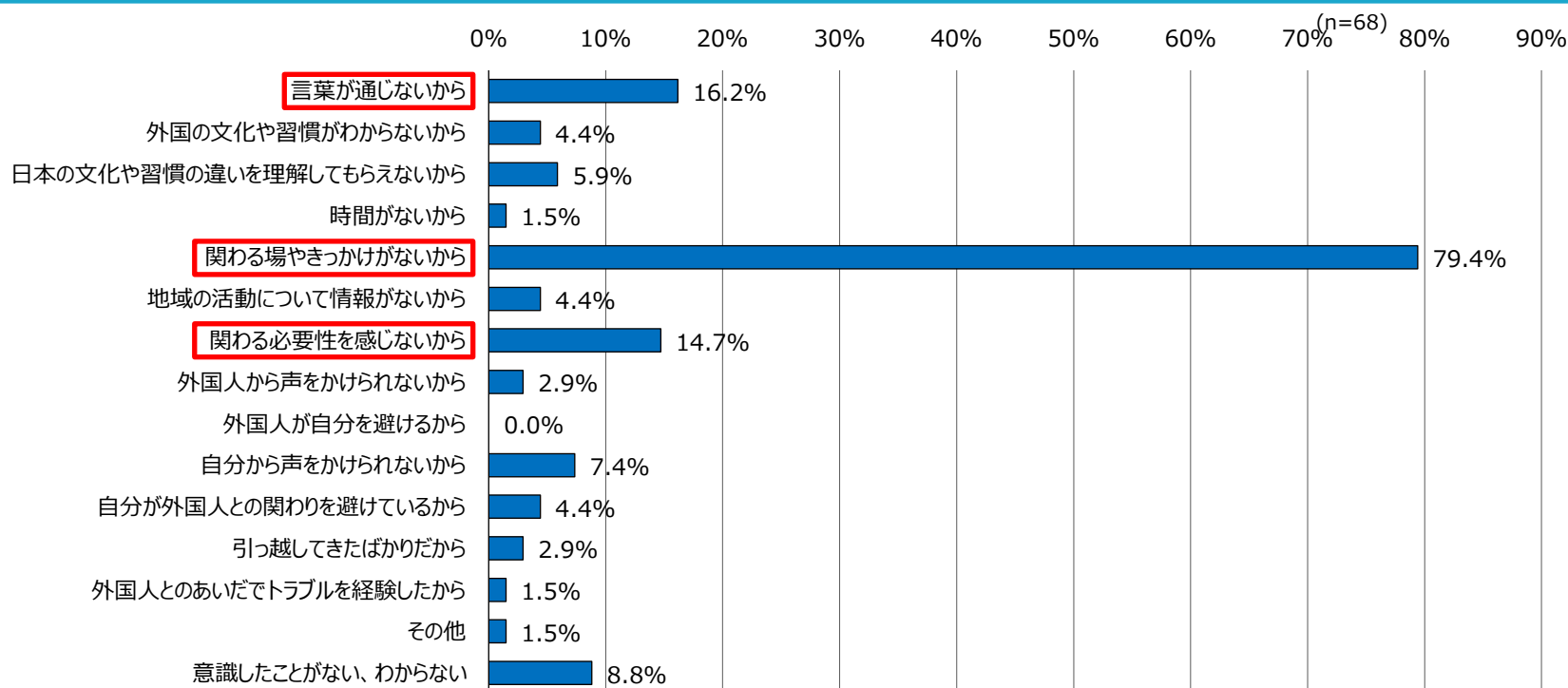
「一緒に仕事をしている（していた）」が最も多く、次いで「外国人の知人はいないし、関わったこともない」、「外国人とあいさつ程度の関わりはある（あった）」となっている。



主な調査結果：外国人や外国文化との触れ合い

問7 【「外国人の知人はいないし、関わったこともない」を選択された方】あなたが普段の生活で外国人との関わりがない理由は次のうちどれですか。（複数回答）

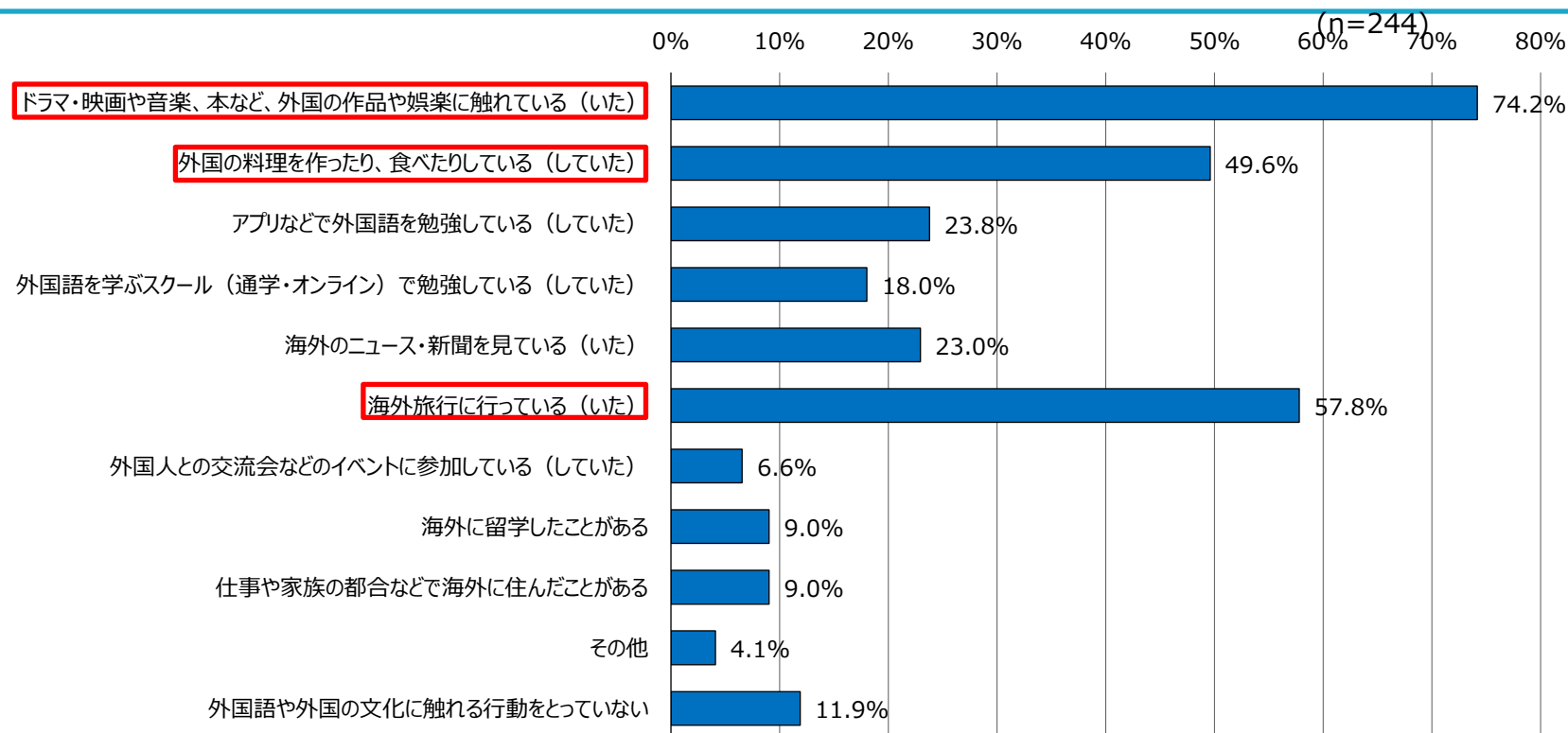
「関わる場やきっかけがないから」が最も多く、次いで「言葉が通じないから」、「関わる必要性を感じないから」となっている。



主な調査結果：外国人や外国文化との触れ合い

問8 現在やこれまでの経験を含めて、あなたは外国語や外国の文化に触れることがありますか。

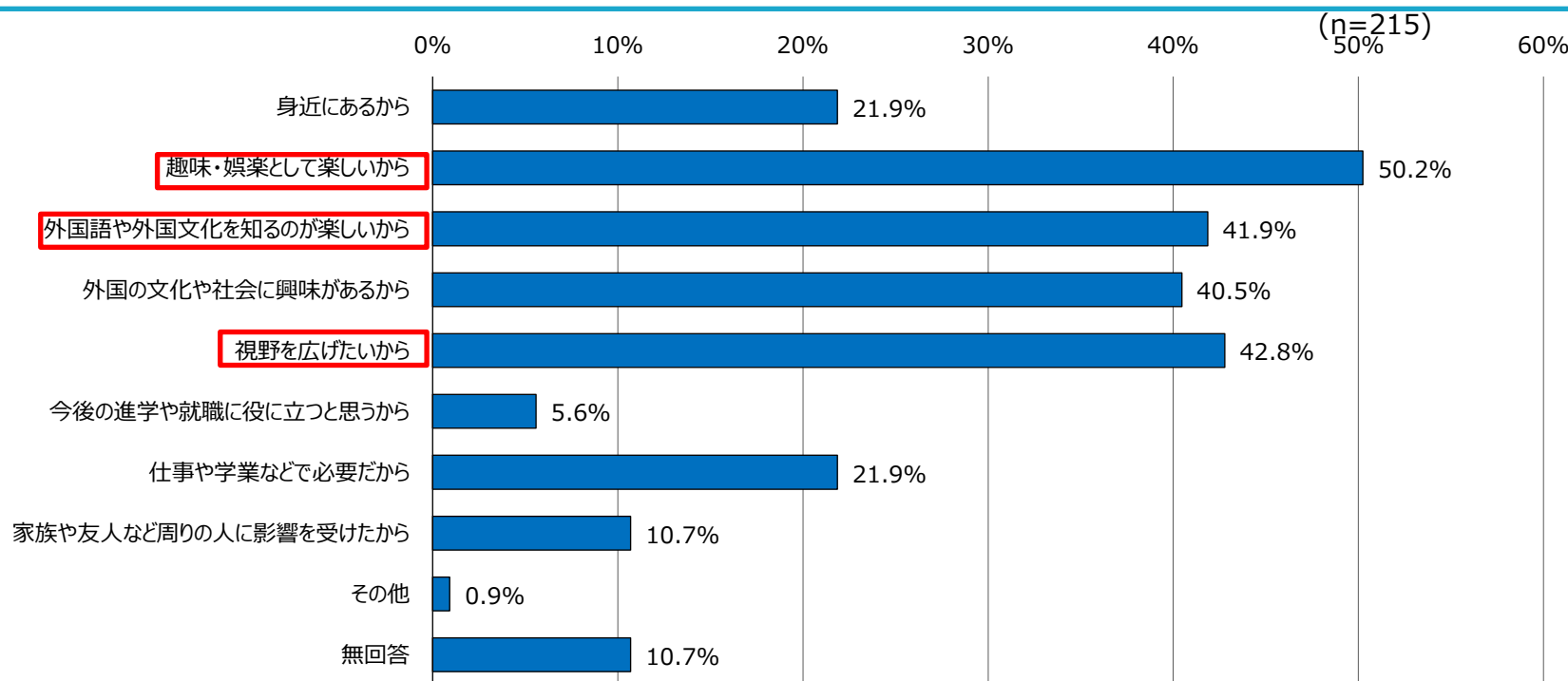
「ドラマ・映画や音楽、本など、外国の作品や娯楽に触れている(いた)」が最も多く、次いで「海外旅行に行っている(いた)」、「外国の料理を作ったり、食べたりしている(していた)」となっている。



主な調査結果：外国人や外国文化との触れ合い

問9 【「外国語や外国の文化に触れる行動をとっていない」以外を選択された方】あなたが外国語や外国の文化に触れる行動をとっている理由は次のうちどれですか。（複数回答）

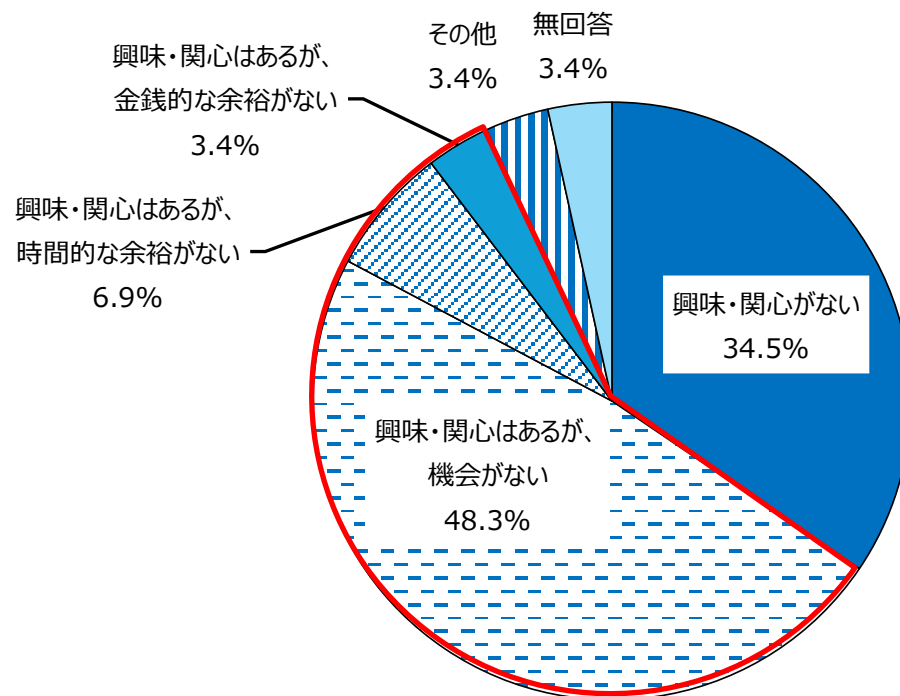
「趣味・娯楽として楽しいから」が最も多く、次いで「視野を広げたいから」、「外国語や外国文化を知るのが楽しいから」となっている。



主な調査結果：外国人や外国文化との触れ合い

問10 【「外国語や外国の文化に触れる行動をとっていない」を選択された方】あなたが外国語や外国の文化に触れる行動をとっていない理由は次のうちどれですか。

「興味・関心はあるが、機会がない・時間的な余裕がない・金銭的な余裕がない」の合計は58.6%、「興味・関心がない」が34.5%となっている。

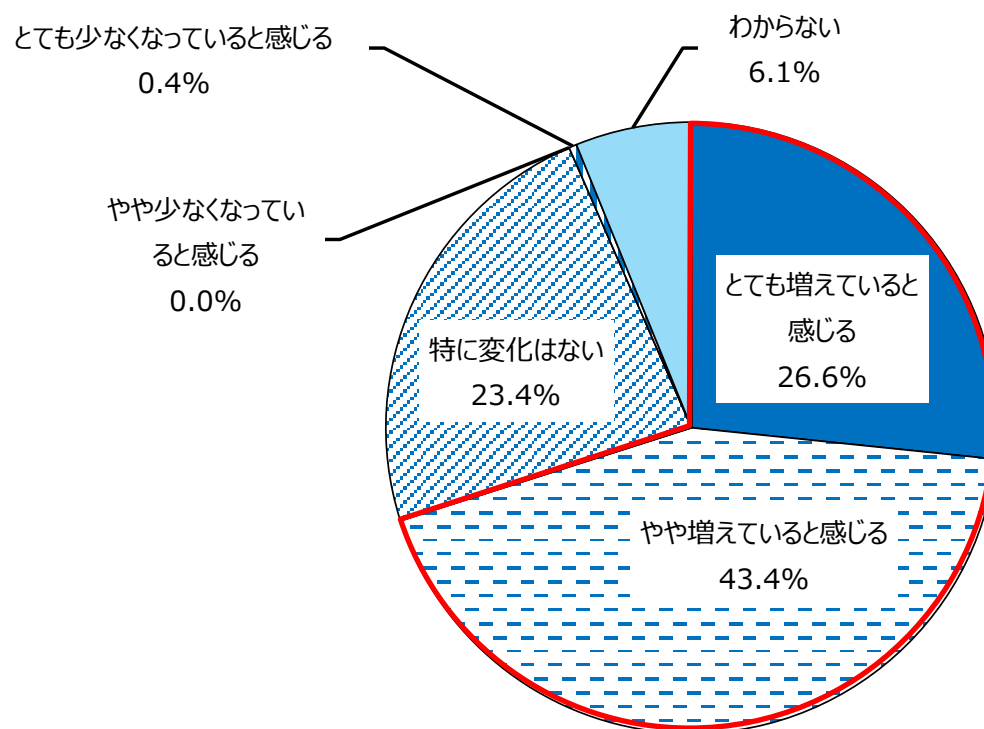


(n=29)

主な調査結果：外国人市民に対する考え

問11 あなたの暮らす地域において、ここ数年で、外国人市民が増えていると感じますか。

「とても増えていると感じる」、「やや増えていると感じる」の合計は70%となっている。

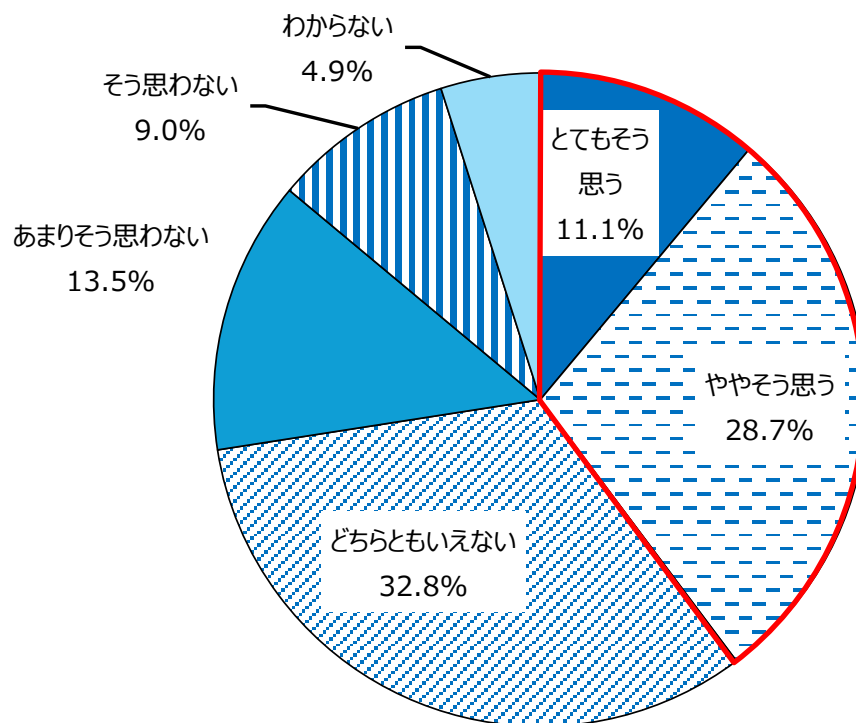


(n=244)

主な調査結果：外国人市民に対する考え

問12 あなたは、外国人市民と地域社会や仕事場、学校、イベントなどで、交流や関わりを持ちたいと思いますか。

「とてもそう思う」「ややそう思う」の合計は39.8%、「あまりそう思わない」「そう思わない」の合計は22.5%となっている。

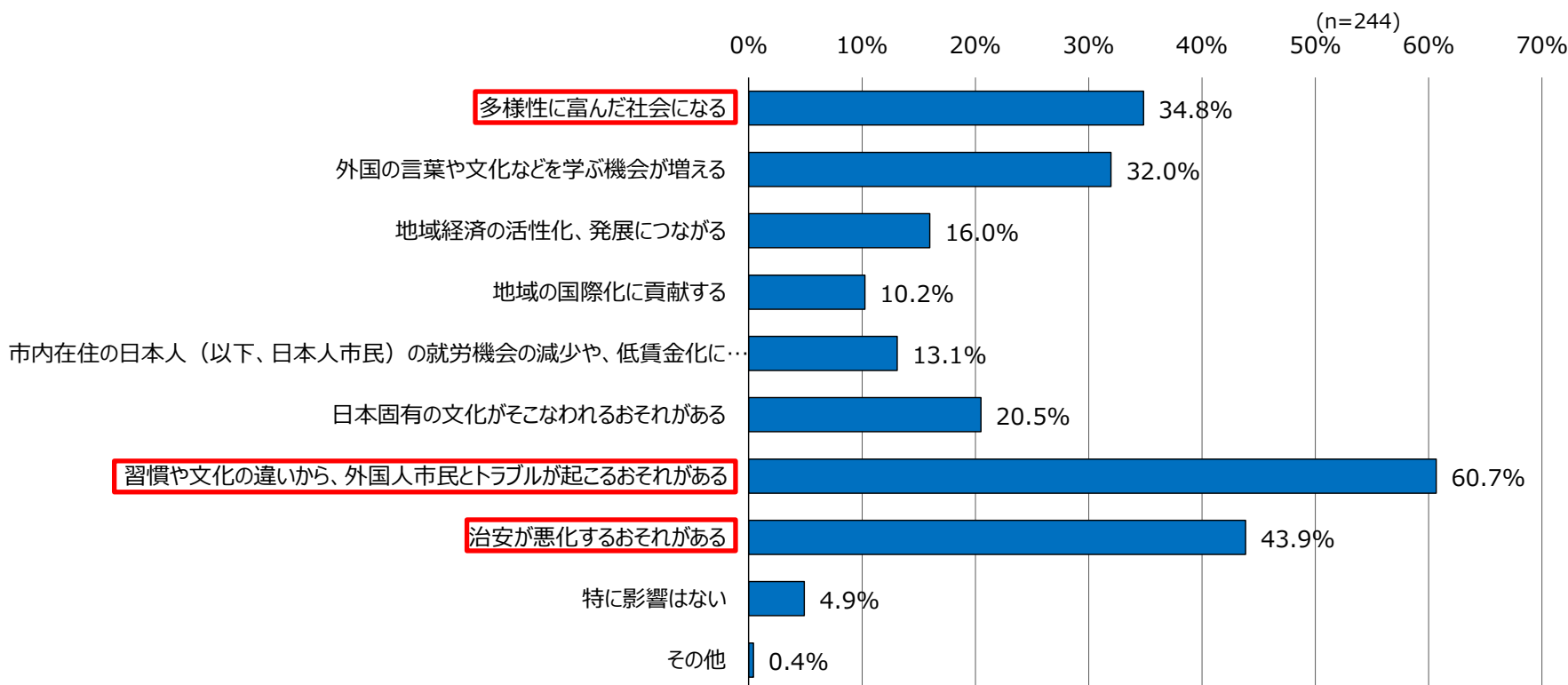


(n=244)

主な調査結果：外国人市民に対する考え

問13 あなたは、外国人市民が地域社会に増えることについてどう思いますか。（3つまで回答）

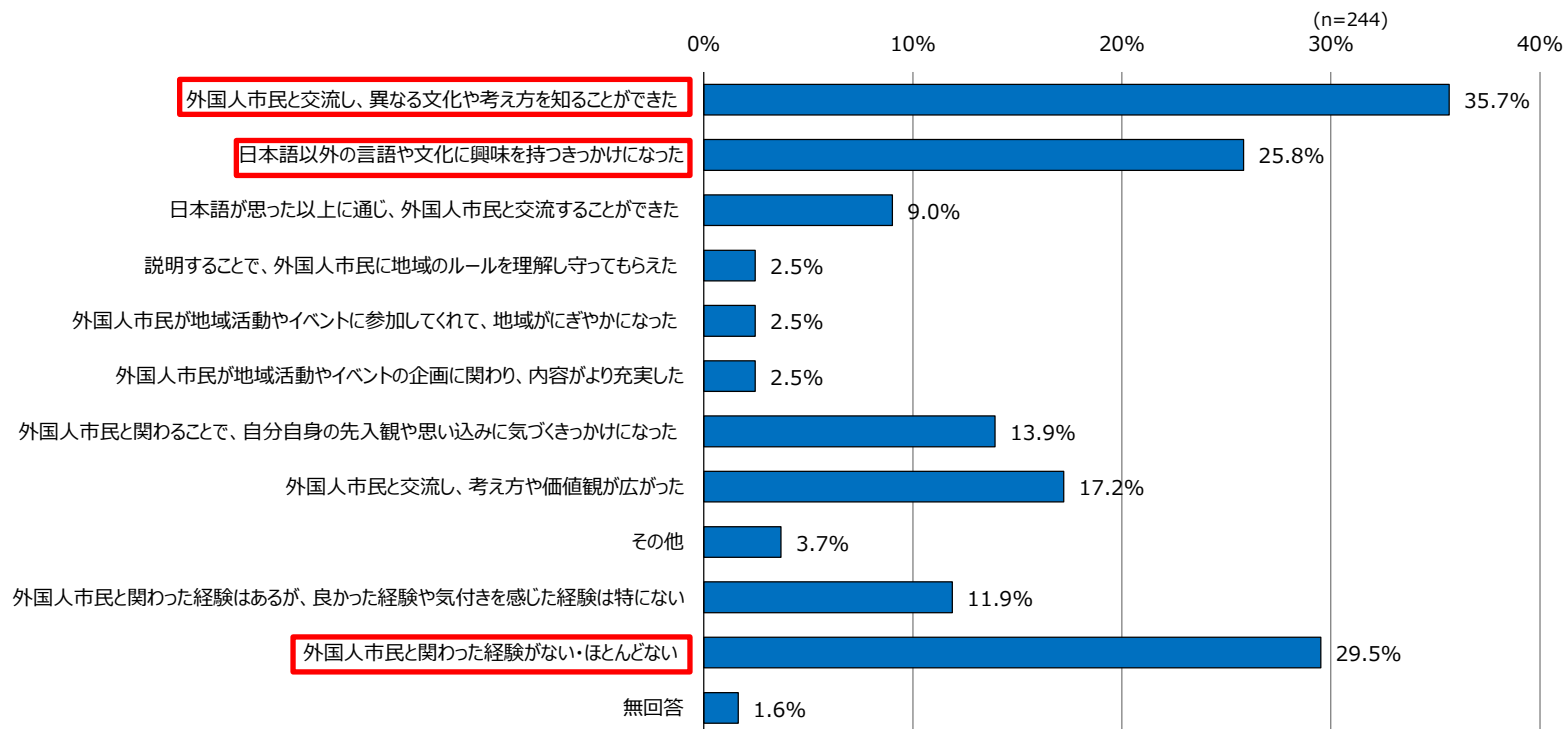
「習慣や文化の違いから、外国人市民とトラブルが起こるおそれがある」が最も多く、次いで「治安が悪化するおそれがある」、「多様性に富んだ社会になる」となっている。



主な調査結果：外国人市民に対する考え

問14 これまでに外国人市民との関わりで良かった経験や、気づきを感じた経験があれば教えてください。（複数回答）

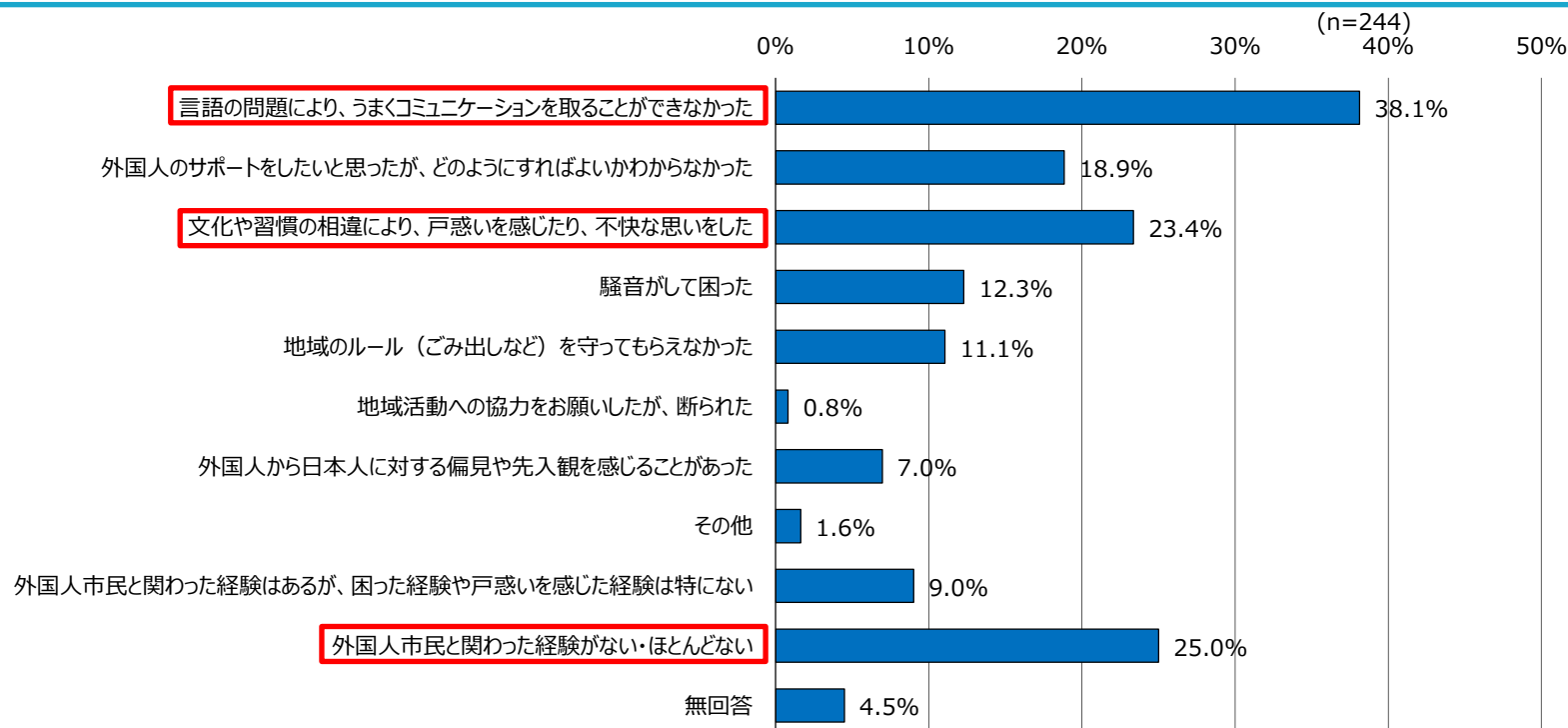
「外国人市民と交流し、異なる文化や考え方を知ることができた」が最も多く、次いで「外国人市民と関わった経験がない・ほとんどない」、「日本語以外の言語や文化に興味を持つきっかけになった」となっている。



主な調査結果：外国人市民に対する考え

問15 これまでに外国人市民との関わりで困った経験や、戸惑いを感じた経験があれば教えてください
(複数回答)

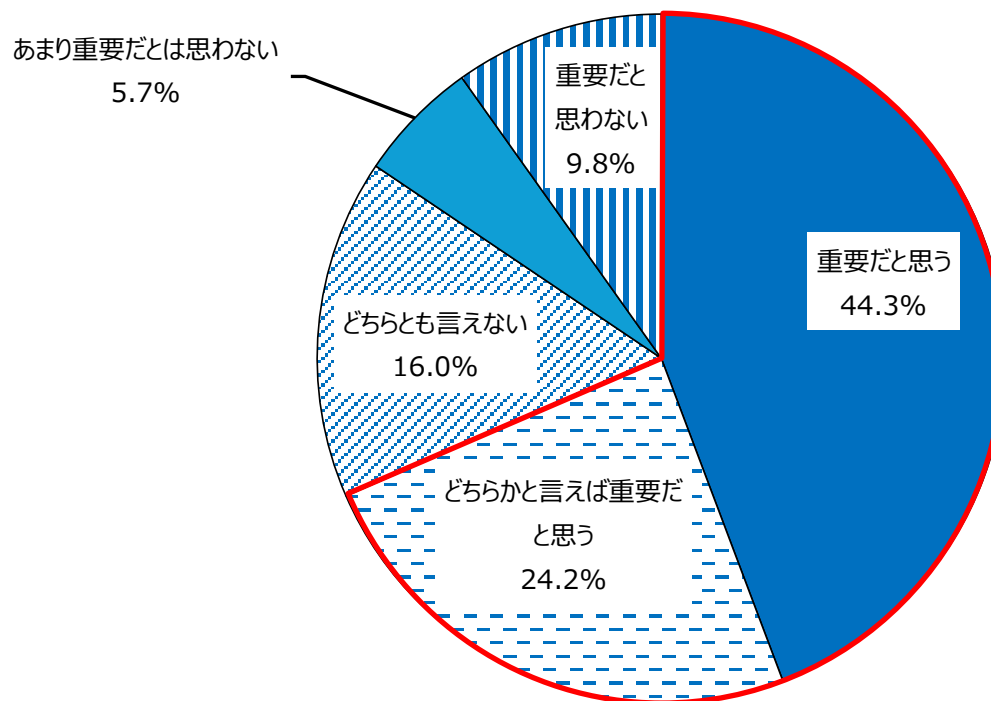
「言語の問題により、うまくコミュニケーションを取ることができなかった」が最も多く、次いで「外国人市民と関わった経験がない・ほとんどない」、「文化や習慣の相違により、戸惑いを感じたり、不快な思いをした」となっている。



主な調査結果：地域社会づくり

問16 日本人市民と外国人市民が共に安心して暮らし、活躍できる地域社会にしていけることは重要だと思いますか。

「重要だと思う」「どちらかと言えば重要だと思う」の合計は68.4%、「あまり重要だとは思わない」「重要だと思わない」の合計は15.6%となっている。



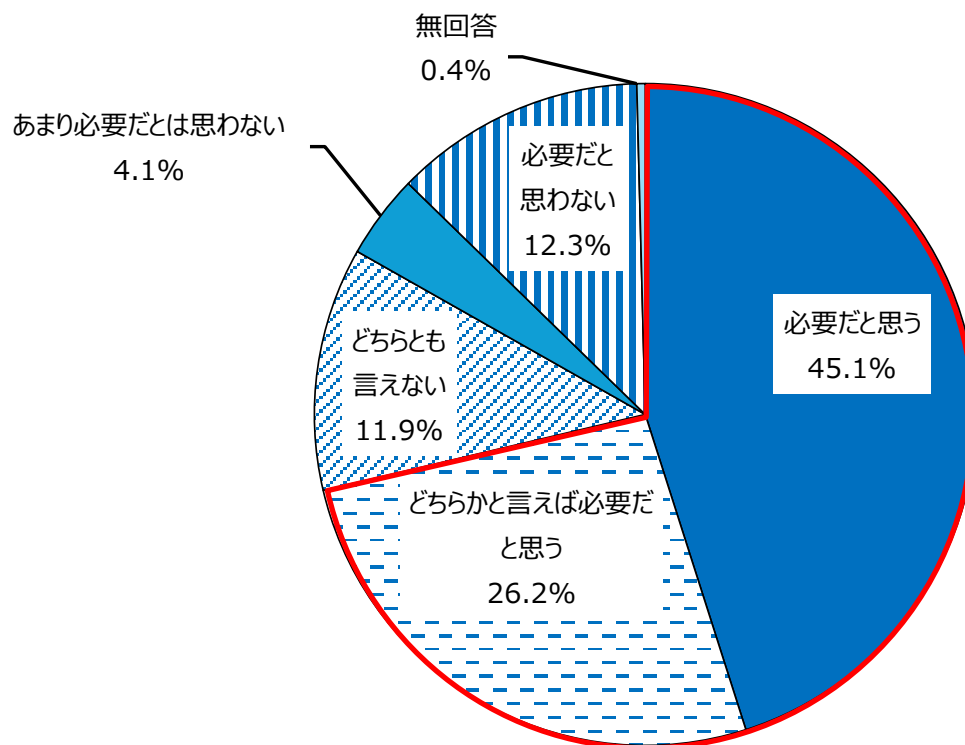
※四捨五入の関係により、「合計」と「内訳の合計」に、見かけ上の不一致が生じている。

(n=244)

主な調査結果：地域社会づくり

問17 大津市において、日本人市民と外国人市民が共に安心して暮らし、活躍できる地域社会にしているための取組は必要だと思いますか。（複数回答）

「必要だと思う」「どちらかと言えば必要だと思う」の合計は71.3%、「あまり必要だとは思わない」「必要だと思わない」の合計は16.4%となっている。

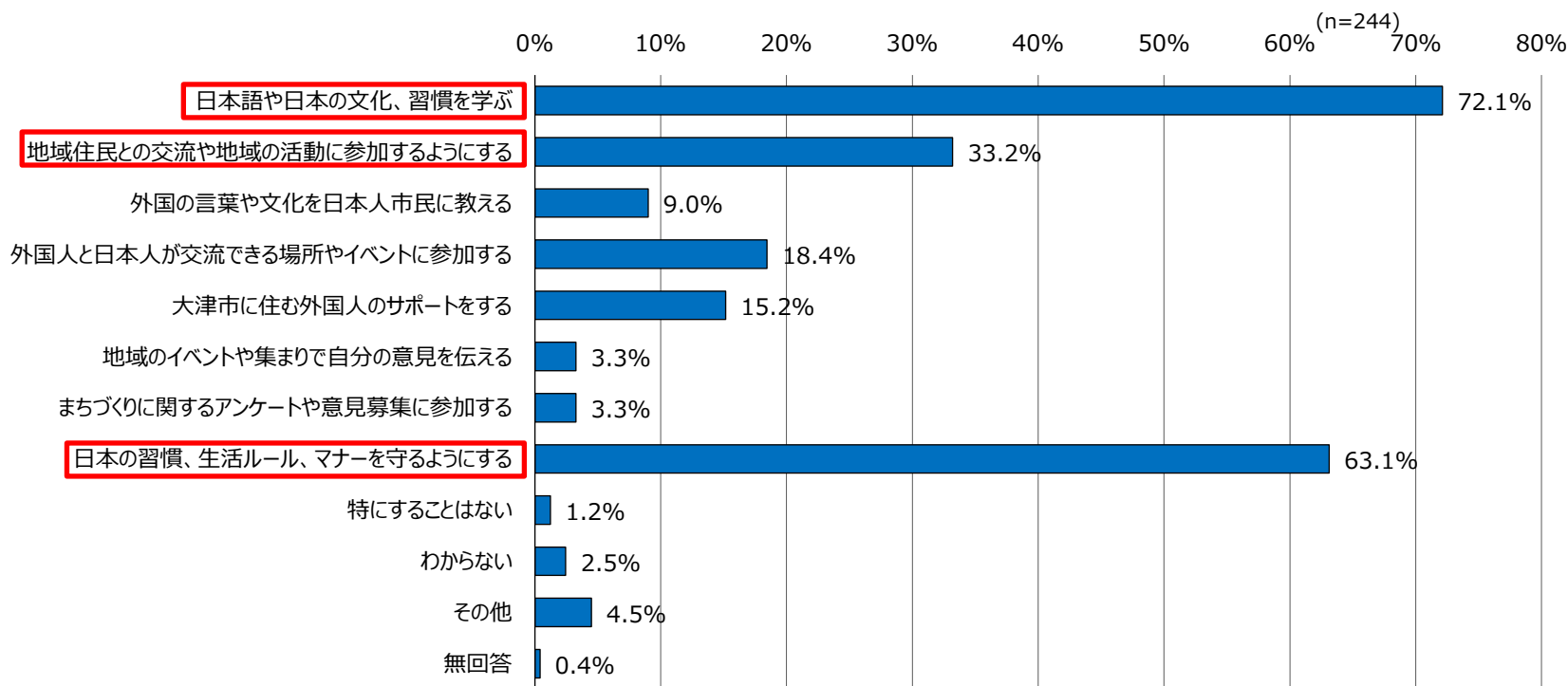


(n=244)

主な調査結果：地域社会づくり

問18 日本人市民と外国人市民が共に安心して暮らし、活躍できる地域社会にしていけるために、「外国人市民」は何をしたらよいと思いますか。（3つまで）

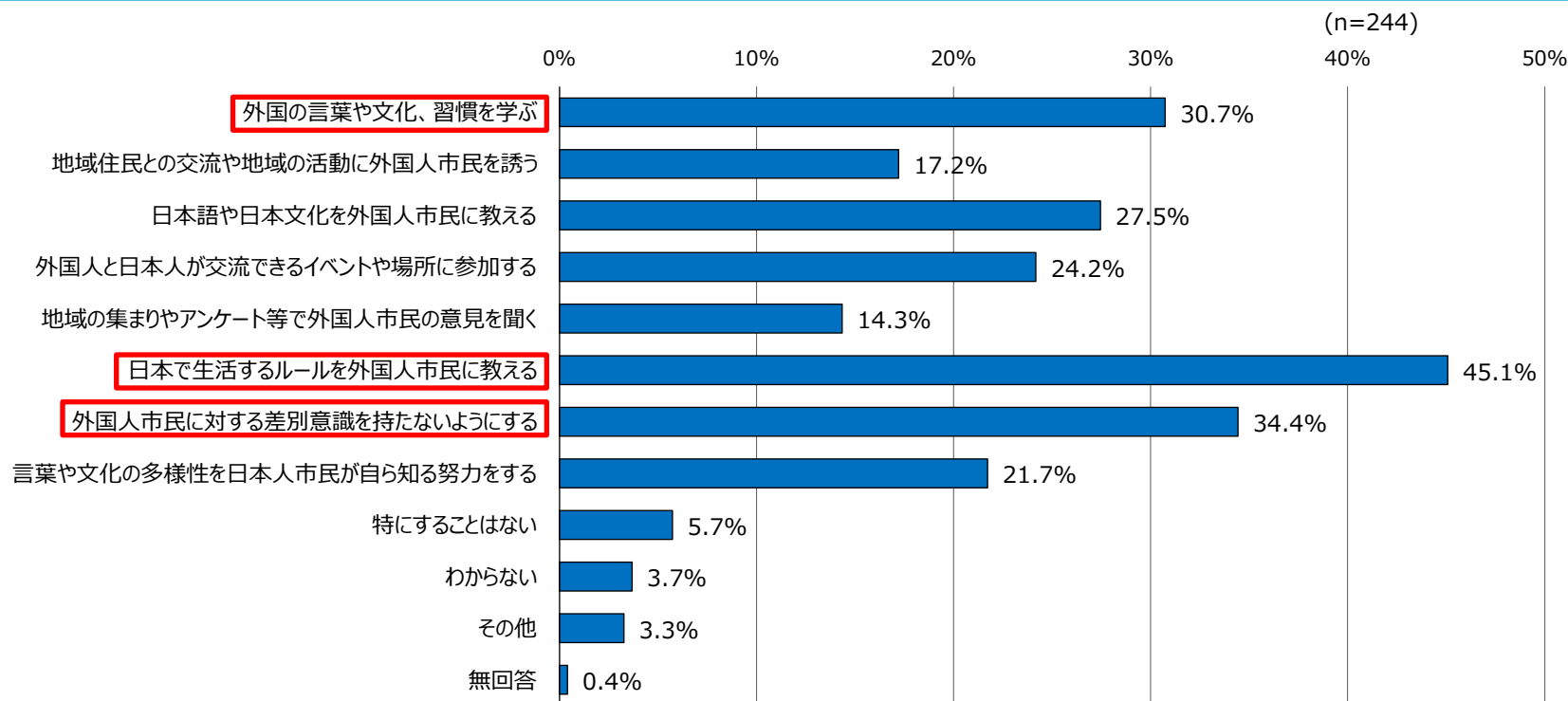
「日本語や日本の文化、習慣を学ぶ」が最も多く、次いで「日本の習慣、生活ルール、マナーを守るようにする」、「地域住民との交流や地域の活動に参加するようにする」となっている。



主な調査結果：地域社会づくり

問19 日本人市民と外国人市民が共に安心して暮らし、活躍できる地域社会にしていくために、「日本人市民」は何をしたらよいと思いますか。（3つまで）

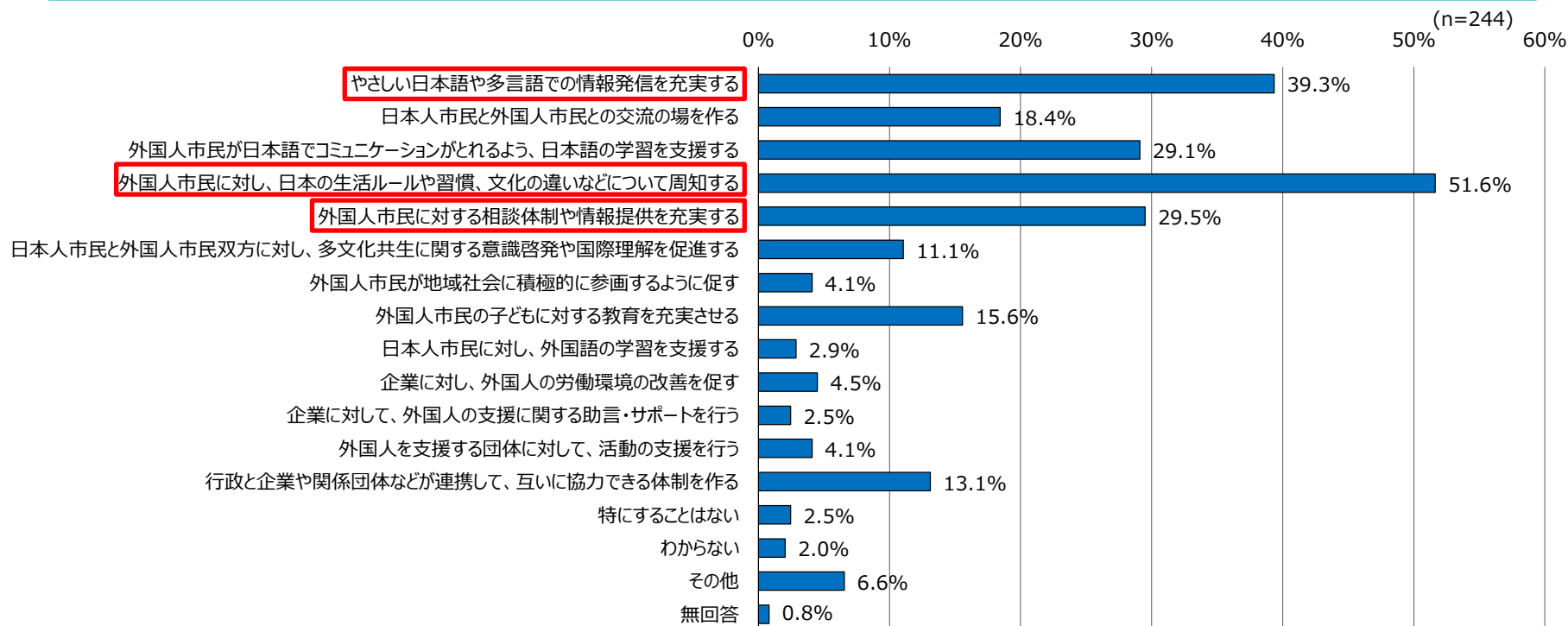
「日本で生活するルールを外国人市民に教える」が最も多く、次いで「外国人市民に対する差別意識を持たないようにする」、「外国の言葉や文化、習慣を学ぶ」となっている。



主な調査結果：地域社会づくり

問20 日本人市民と外国人市民が共に安心して暮らし、活躍できる社会にしていけるために、市役所は、どのような取組に力を入れるとよいと思いますか。（3つまで）

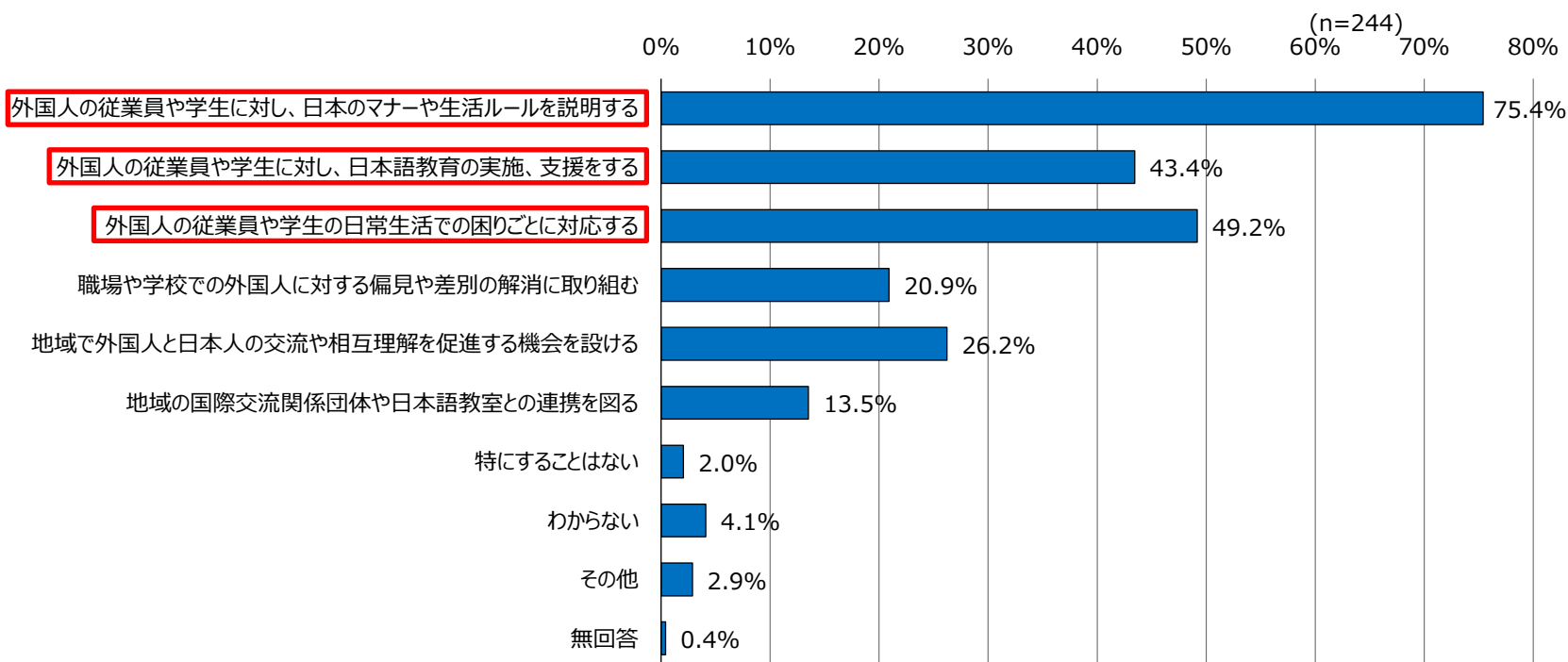
「外国人市民に対し、日本の生活ルールや習慣、文化の違いなどについて周知する」が最も多く、次いで「やさしい日本語や多言語での情報発信を充実する」、「外国人市民に対する相談体制や情報提供を充実する」となっている。



主な調査結果：地域社会づくり

問21 外国人を雇用している企業や、留学生を受け入れている大学等の教育機関はどのような役割を果たすとよいと思いますか。（3つまで）

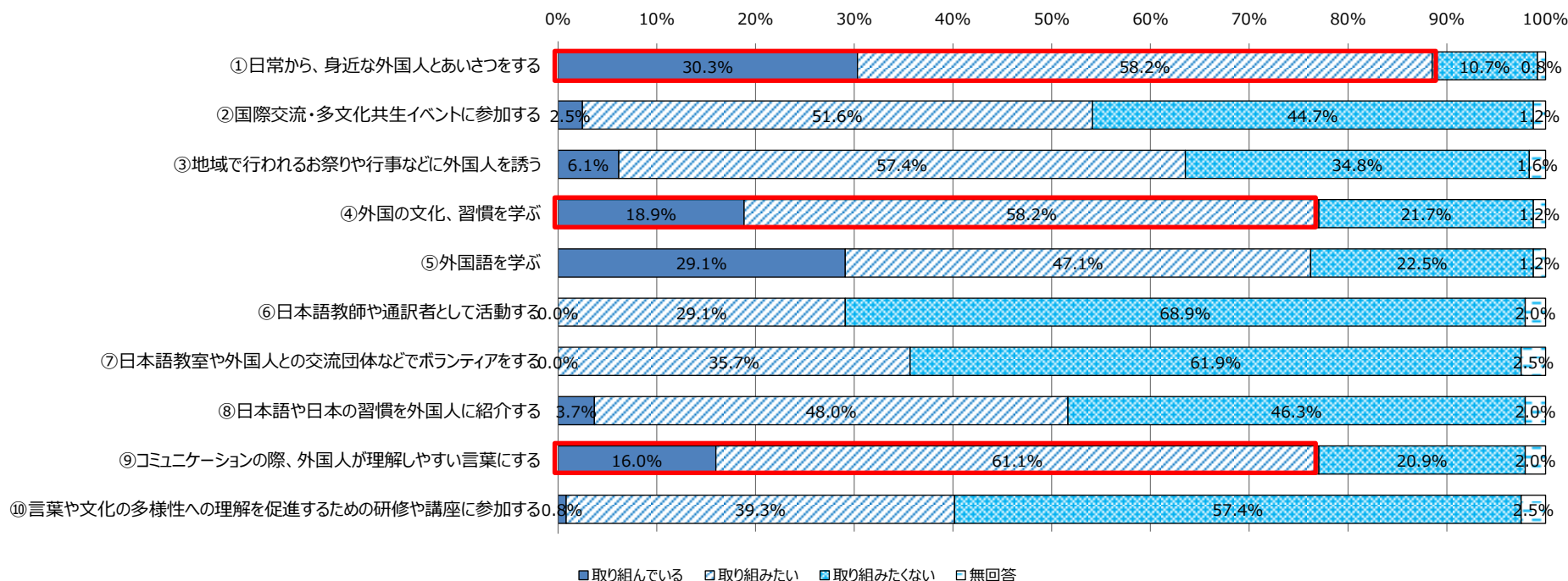
「外国人の従業員や学生に対し、日本のマナーや生活ルールを説明する」が最も多く、次いで「外国人の従業員や学生の日常生活での困りごとに対応する」、「外国人の従業員や学生に対し、日本語教育の実施、支援をする」となっている。



主な調査結果：地域社会づくり

問22 あなたが参加できる取組として、以下の取組に対するあなたの考えを選んでください。

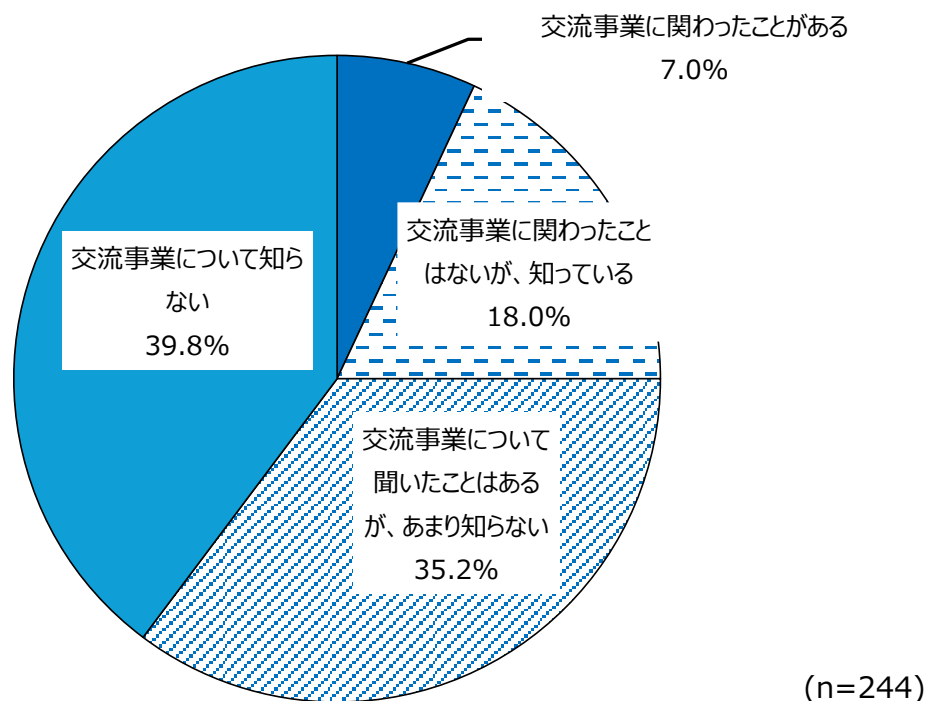
「取り組んでいる」と「取り組みたい」の合計に着目すると、「①日常から、身近な外国人とあいさつをする」における回答者数が最も多く、次いで「④外国の文化、習慣を学ぶ」、「⑨コミュニケーションの際、外国人が理解しやすい言葉にする」となっている。



主な調査結果：国際交流

問23 大津市の姉妹友好都市との交流事業について次の中から近いものを選んでください。

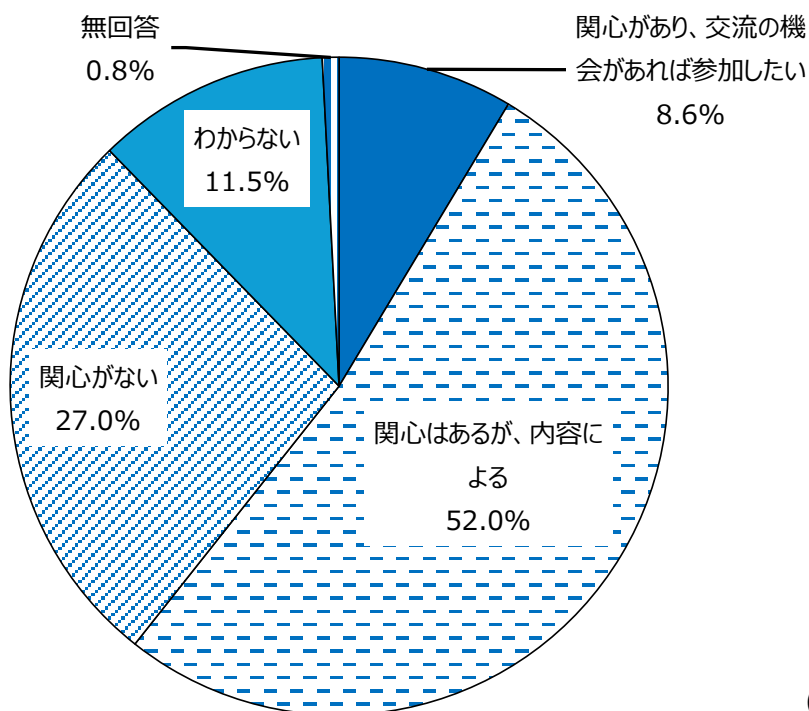
「交流事業について知らない」が最も多く、次いで「交流事業について聞いたことはあるが、あまり知らない」、「交流事業に関わったことはないが、知っている」となっている。



主な調査結果：国際交流

問24 海外に住んでいる外国人と交流し、互いの国・都市のことを学んだり、さまざまなテーマで意見交換したりすることについて関心はありますか。

「関心はあるが、内容による」が最も多く、次いで「関心がない」、「わからない」となっている。

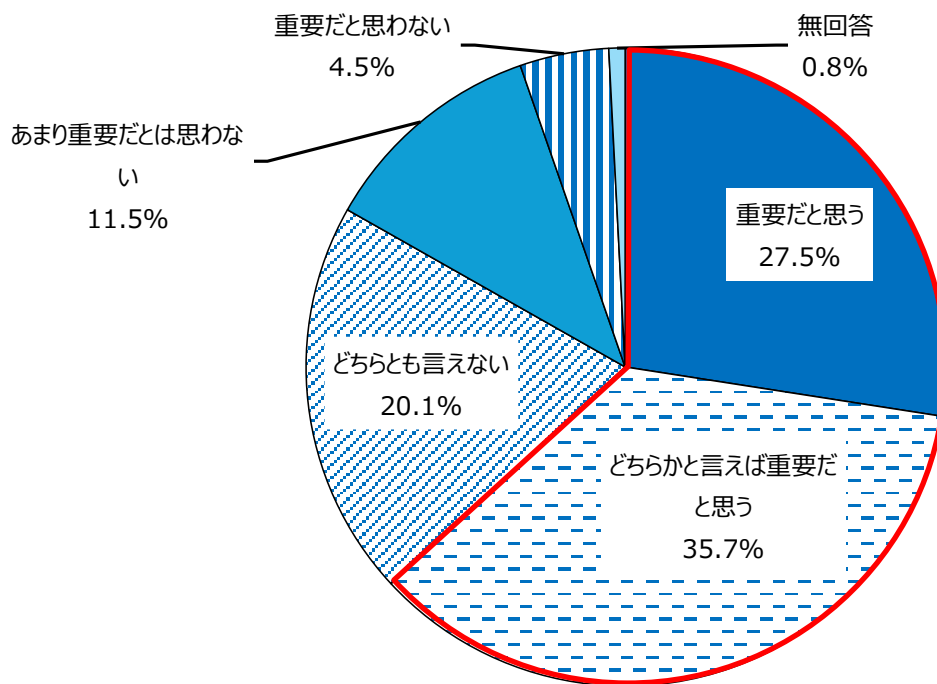


(n=244)

主な調査結果：国際交流

問25 海外に住んでいる外国人と大津市民が交流し、互いの国・都市のことを学んだり、さまざまなテーマで意見交換したりする機会を作ること重要だと思いますか。

「重要だと思う」「どちらかと言えば重要だと思う」の合計は63.1%、「あまり重要だとは思わない」、「重要だと思わない」の合計は16.0%となっている。



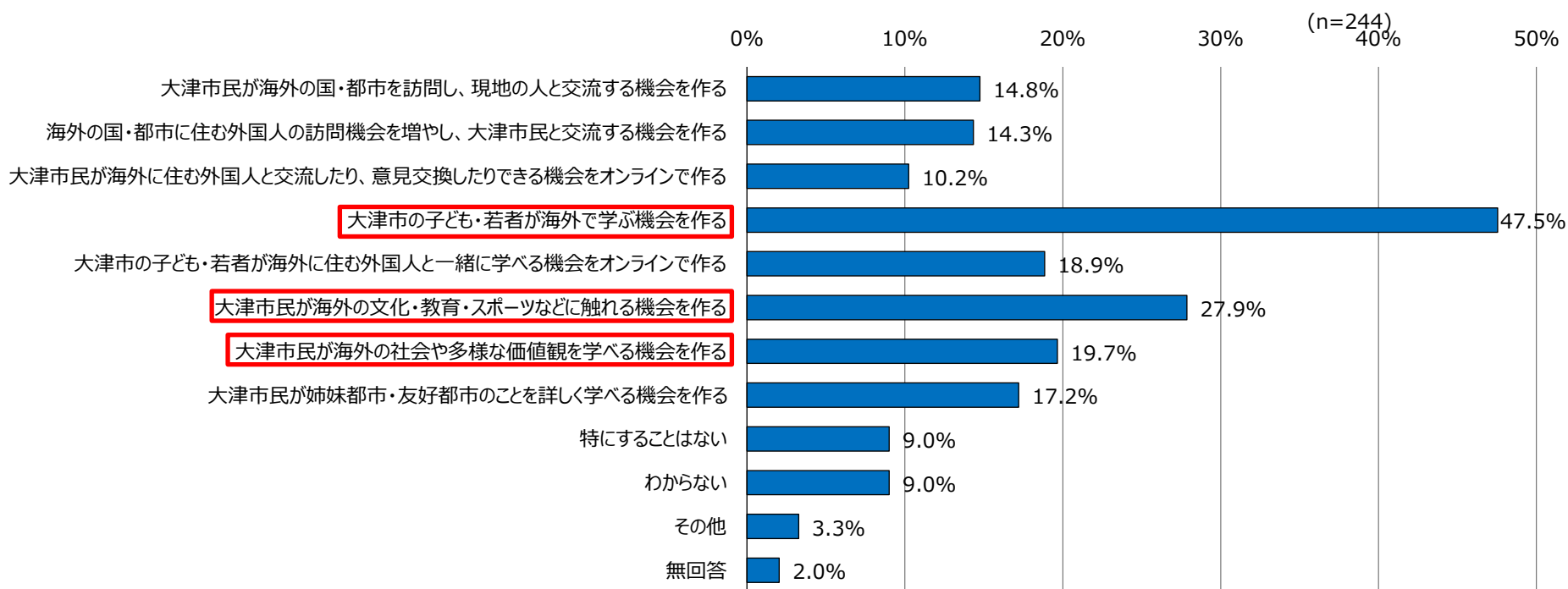
(n=244)

※四捨五入の関係により、「合計」と「内訳の合計」に、見かけ上の不一致が生じている。

主な調査結果：国際交流

問26 国際交流に関して、市役所はどのようなことに取り組むとよいと思いますか。（3つまで）

「大津市の子ども・若者が海外で学ぶ機会を作る」が最も多く、次いで「大津市民が海外の文化・教育・スポーツなどに触れる機会を作る」、「大津市民が海外の社会や多様な価値観を学べる機会を作る」となっている。



外国人市民アンケート 結果概要

調査目的

外国人市民にとっての日本語教育のニーズ、生活の困りごと、日本人との交流、大津市での生活満足度、今後の地域づくりに向けたアイデアなどを調査し、行政の支援ニーズを把握することで、多文化共生施策の企画・立案に活用する。

調査概要

調査対象	16歳以上の外国人市民1,500人、関係機関に所属する外国人
調査方法	Webアンケートシステム
実施言語	中国語、ベトナム語、インドネシア語、ネパール語、ポルトガル語、英語、日本語、やさしい日本語
調査時期	2026年6月30日（火）～7月24日（金）
回答数・回答率	568件（はがき経由：492件、関係機関経由：76件）※有効回答数のみ はがき配布分の回収率：33.4%

調査概要

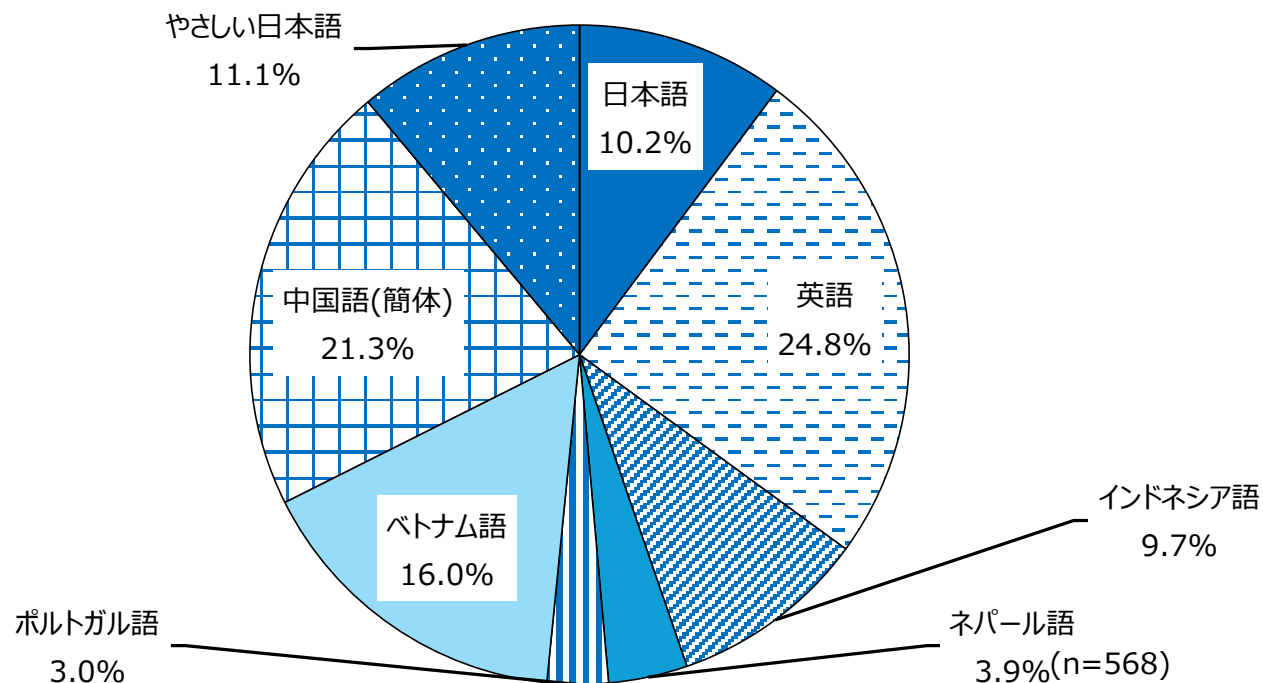
調査項目

あなたのことについて	● 年齢、性別、国籍、在留資格 ● 日本、大津市での居住年数、大津市に住み始めた理由 等
日本語について	● 母語、日本語レベル ● 日本語の勉強の意向、目標レベル ● 日本語で困る場面 ● 日本語を学びたい方法・時間帯 等
生活の困りごと	● 情報の入手手段、生活の中での困りごと、困ったときの相談先 等
日本人との交流	● 日本人との普段の関わり、今後の交流意向、参加したことのある地域活動 等
こどものこと、子育てについて	● 子育てについての困りごと、あったらよいと思うサポート 等
防災について	● どのように災害へ備えているか
仕事について	● 職場から受けているサポート、受けたいサポート 等
大津市での生活について	● 生活満足度、その理由
今後の地域社会づくりに ついて	● 日本人市民と外国人市民が安心して活躍できる地域社会に向けて外国人市民、日本人市民は何をしたらよいと思うか、今後に向けたアイデア 等

主な調査結果

回答言語

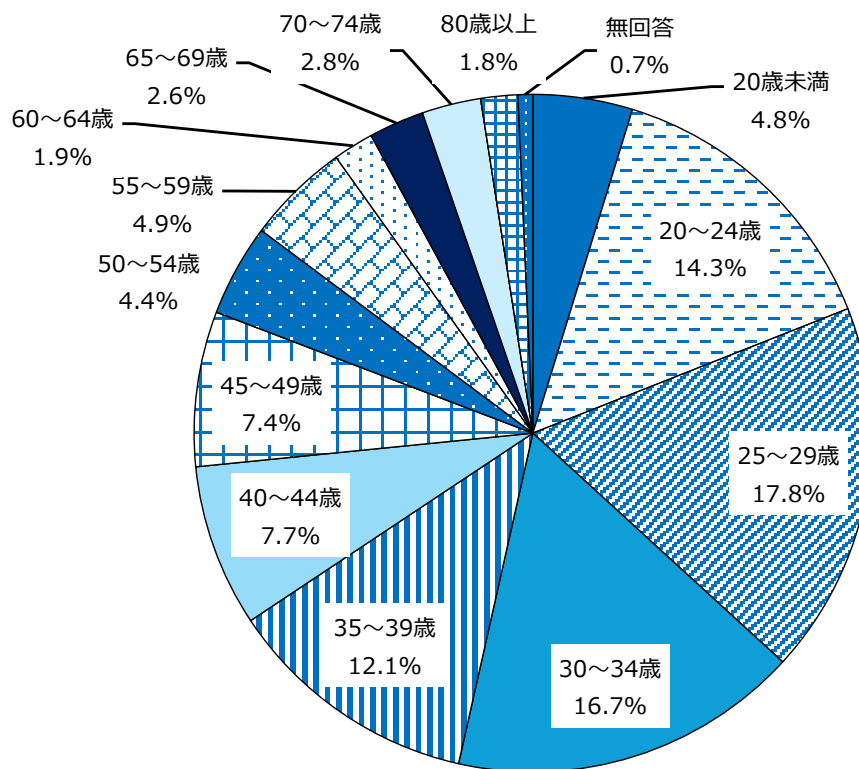
「英語」が最も多く、次いで「中国語（簡体）」「ベトナム語」となっている。



主な調査結果：基本情報

問1 あなたの年齢は次のどれですか。

「25～29歳」が最も多く、次いで「30～34歳」「20～24歳」となっている。

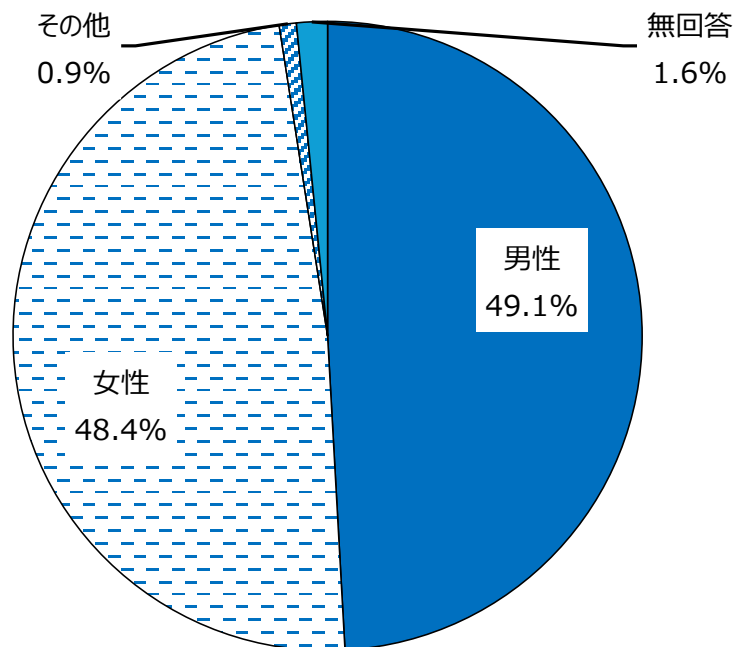


(n=568)

主な調査結果：基本情報

問2 あなたの性別を教えてください。

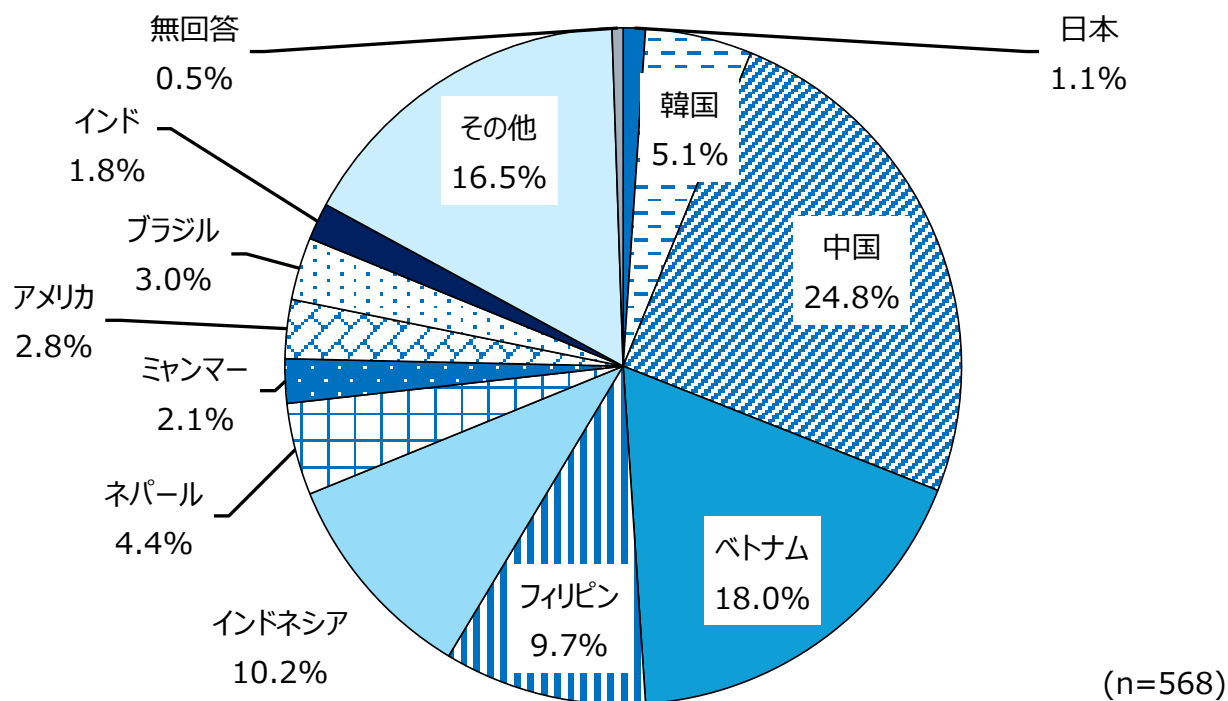
回答者の性別は、男性と女性が概ね半数ずつとなっている。



主な調査結果：基本情報

問3 あなたの国籍を教えてください。

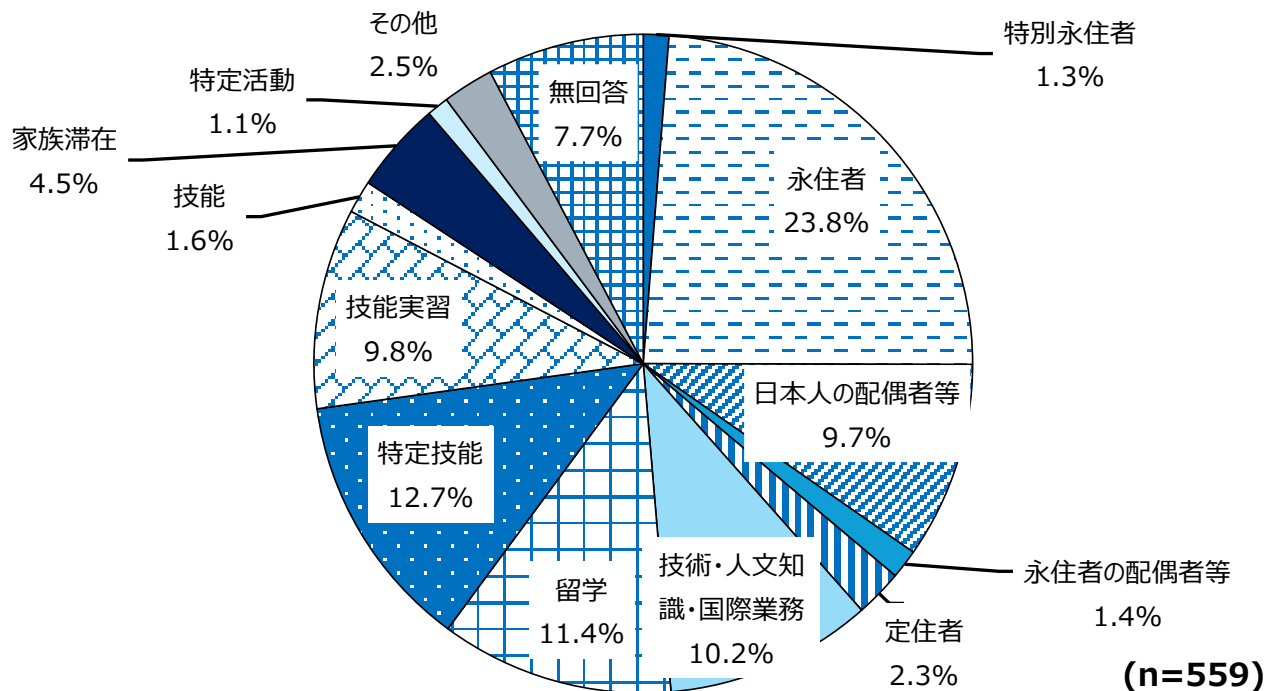
「中国」が最も多く、次いで「ベトナム」「インドネシア」となっている。



主な調査結果：基本情報

問4 【「日本」以外の国籍の人のみ】あなたの在留資格を教えてください。

「永住者」が最も多く、次いで「特定技能」「留学」となっている。



主な調査結果：基本情報

問5 あなたは大津市のどこのエリア（小学校区）に住んでいますか。

回答者の在住エリアは、「滋賀」が最も多く18.3%である。次いで「瀬田」が12.9%、「膳所」が6.5%となっている。

小学校区	件数	割合
小松	6	1.1%
木戸	2	0.4%
和邇	4	0.7%
小野	13	2.3%
葛川	0	0.0%
伊香立	4	0.7%
真野	6	1.1%
真野北	6	1.1%

小学校区	件数	割合
堅田	20	3.5%
仰木	0	0.0%
仰木の里	3	0.5%
仰木の里東	2	0.4%
雄琴	21	3.7%
日吉台	0	0.0%
坂本	13	2.3%
下阪本	13	2.3%

小学校区	件数	割合
唐崎	17	3.0%
滋賀	104	18.3%
比叡平	9	1.6%
長等	13	2.3%
藤尾	5	0.9%
中央	13	2.3%
逢坂	5	0.9%
平野	15	2.6%

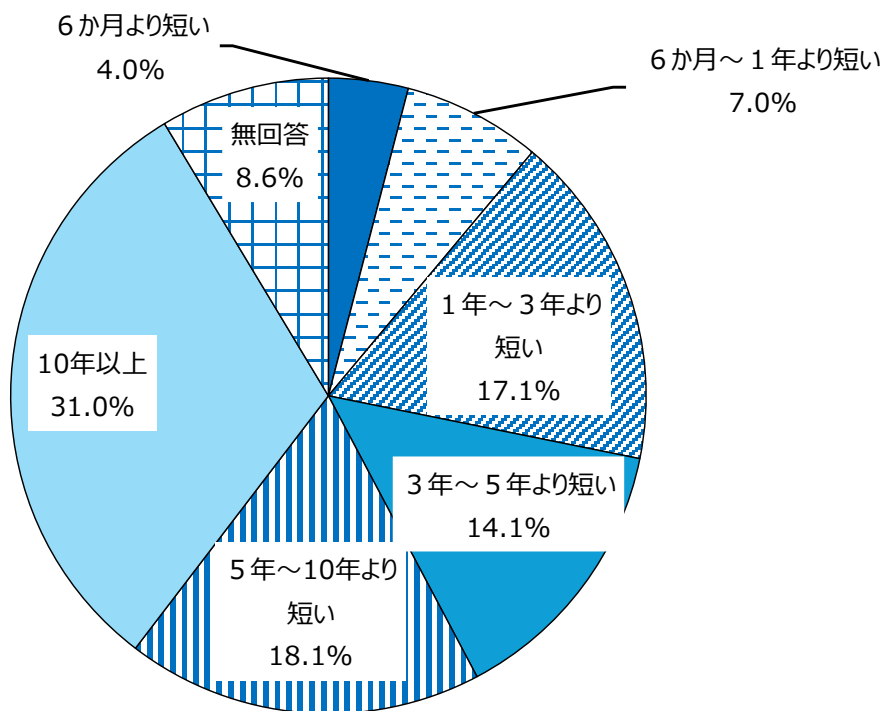
小学校区	件数	割合
膳所	37	6.5%
晴嵐	7	1.2%
富士見	6	1.1%
石山	22	3.9%
南郷	2	0.4%
大石	3	0.5%
田上	8	1.4%
上田上	0	0.0%

小学校区	件数	割合
青山	6	1.1%
瀬田南	8	1.4%
瀬田	73	12.9%
瀬田北	14	2.5%
瀬田東	11	1.9%
わからない	15	2.6%
無回答	62	10.9%
計	568	100%

主な調査結果：基本情報

問6 あなたは合計でどのくらい日本で生活していますか。

「10年以上」が最も多く、次いで「5年～10年より短い」「1年～3年より短い」となっている。

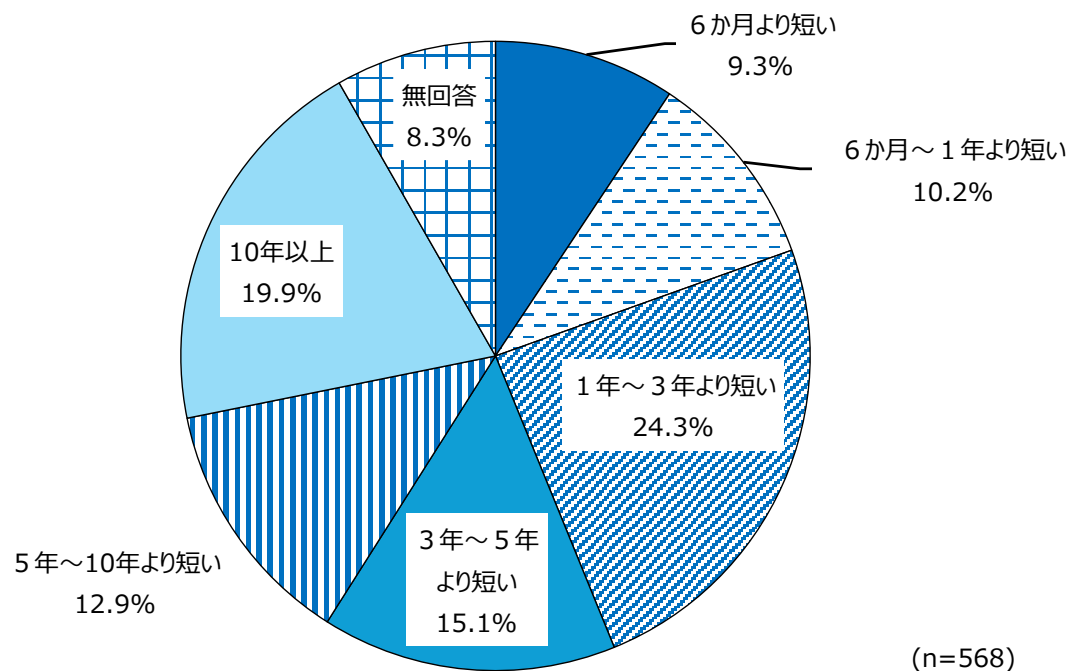


(n=568)

主な調査結果：基本情報

問7 あなたは合計でどのくらい大津市で生活していますか。

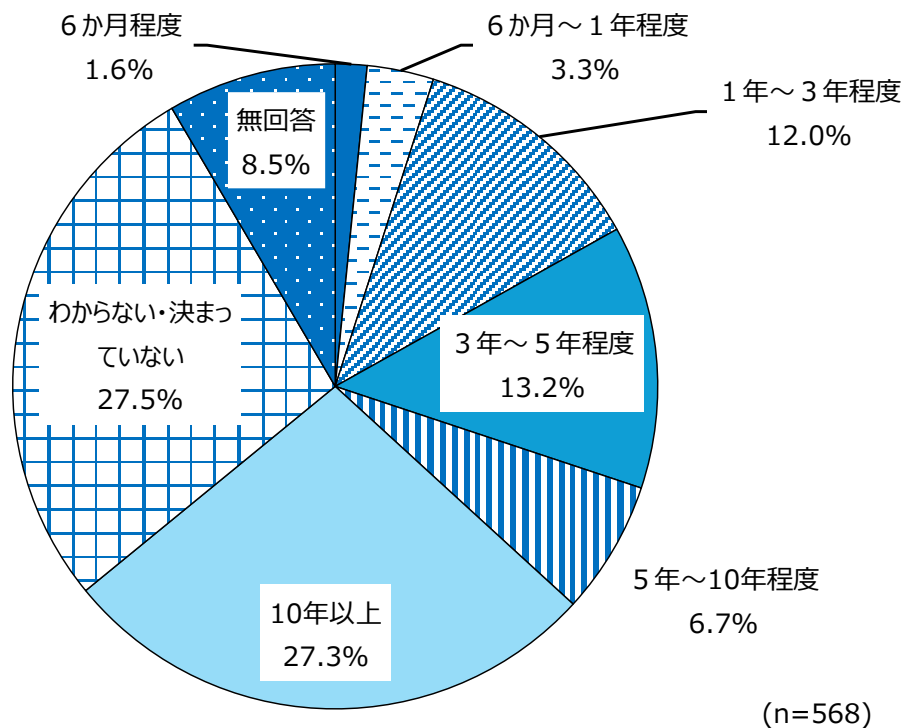
「1年～3年より短い」が最も多く、次いで「10年以上」「3年～5年より短い」となっている。



主な調査結果：基本情報

問10 あなたはこれから、大津市にどのくらいの期間住む予定ですか。

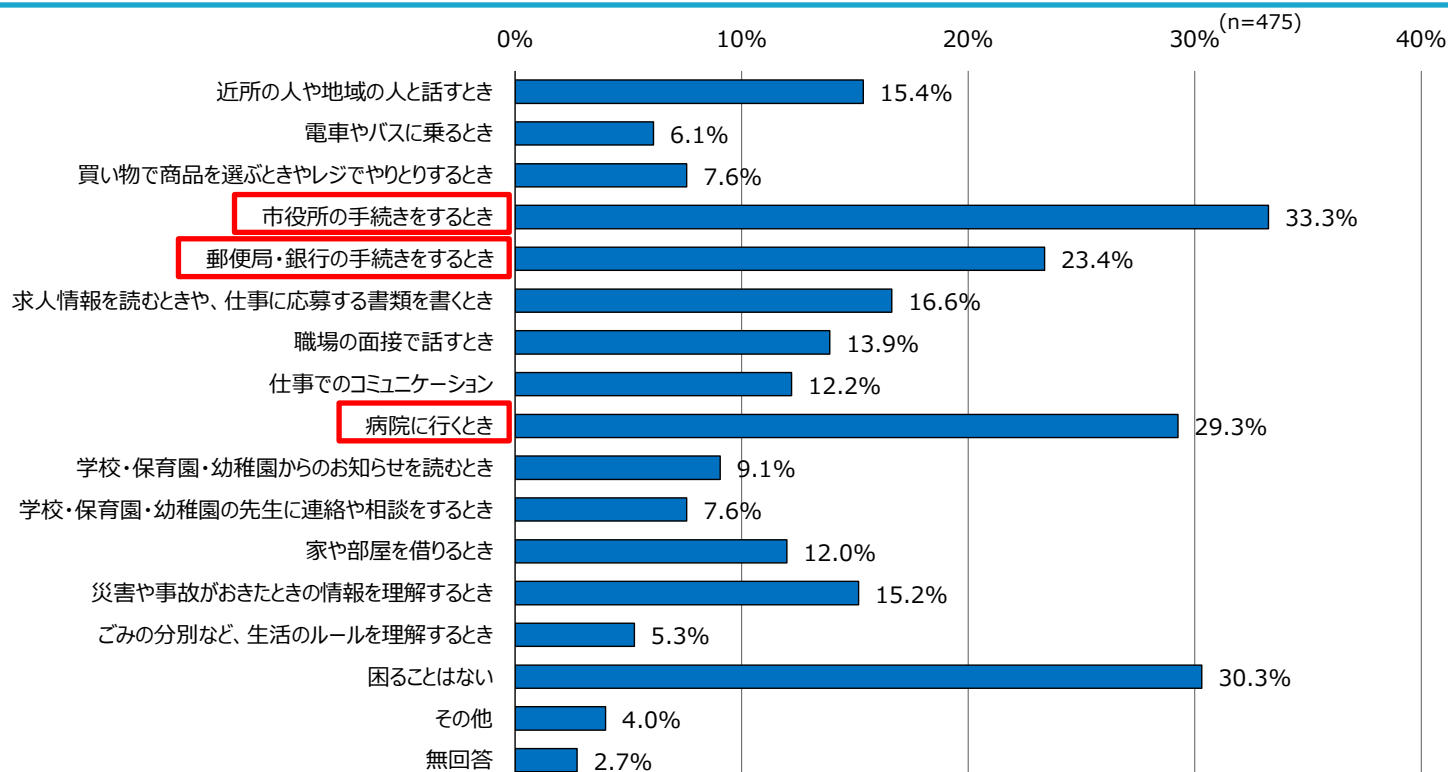
「わからない・決まっていない」が最も多く、次いで「10年以上」「3年～5年程度」となっている。



主な調査結果：日本語について

問13【母語が「日本語以外」の人のみ】あなたが日本語で困るのはどのような場面ですか。（複数回答）

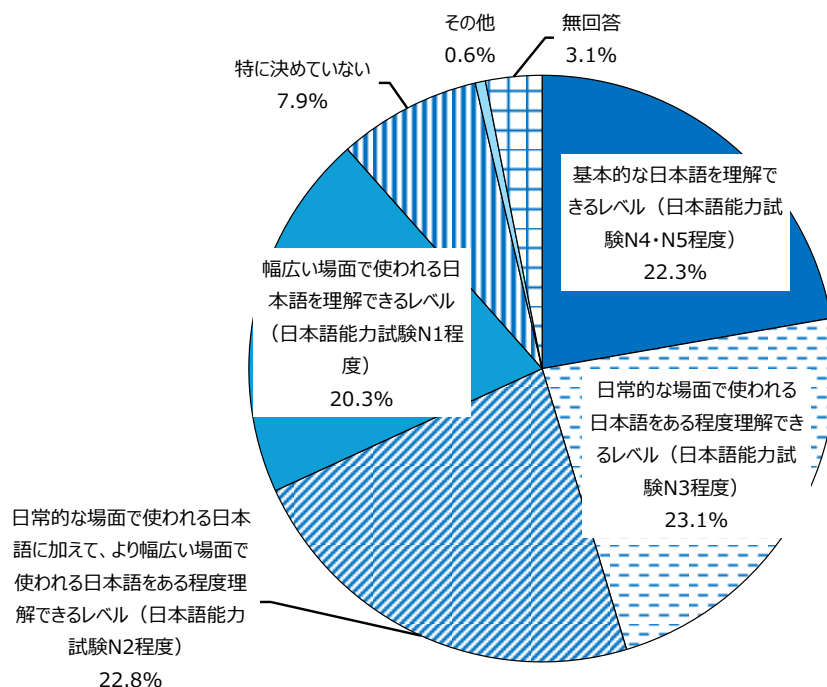
「その他」「無回答」を除くと、何らかの場面で日本語に困っている人は6割以上いる。日本語で困る場面として、「市役所の手続きをするとき」が最も多く、次いで「病院に行くとき」「郵便局・銀行の手続きをするとき」となっている。



主な調査結果：日本語について

問15【日本語を勉強しているまたは勉強したいと回答した人のみ】あなたが目標としている日本語のレベルを教えてください。

「幅広い場面で使われる日本語を理解できるレベル（日本語能力試験N1程度）」「日常的な場面で使われる日本語に加えて、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解できるレベル（日本語能力試験N2程度）」「日常的な場面で使われる日本語をある程度理解できるレベル（日本語能力試験N3程度）」「基本的な日本語を理解できるレベル（日本語能力試験N4・N5程度）」はそれぞれ20%強ずつとなっている。

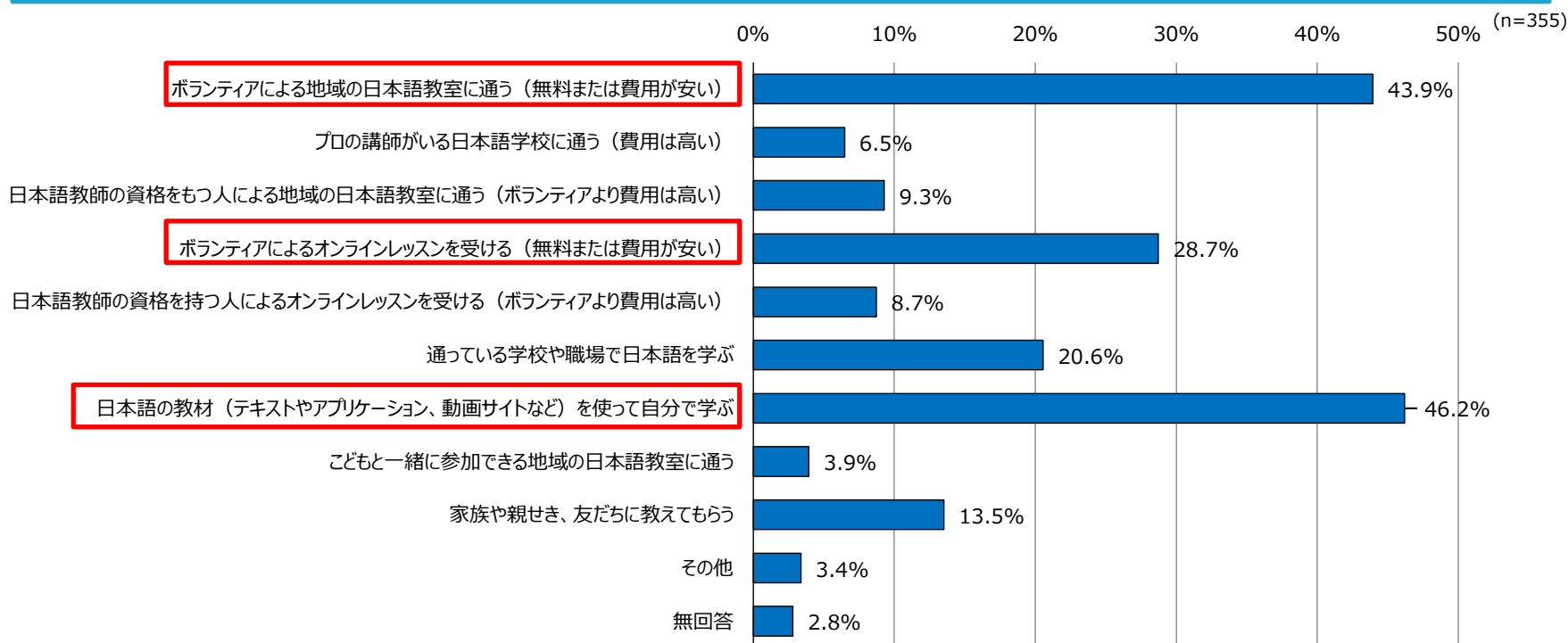


(n=355)

主な調査結果：日本語について

問16【日本語を勉強しているまたは勉強したいと回答した人のみ】あなたはどのような場所や方法で日本語を学びたいですか。（複数回答）

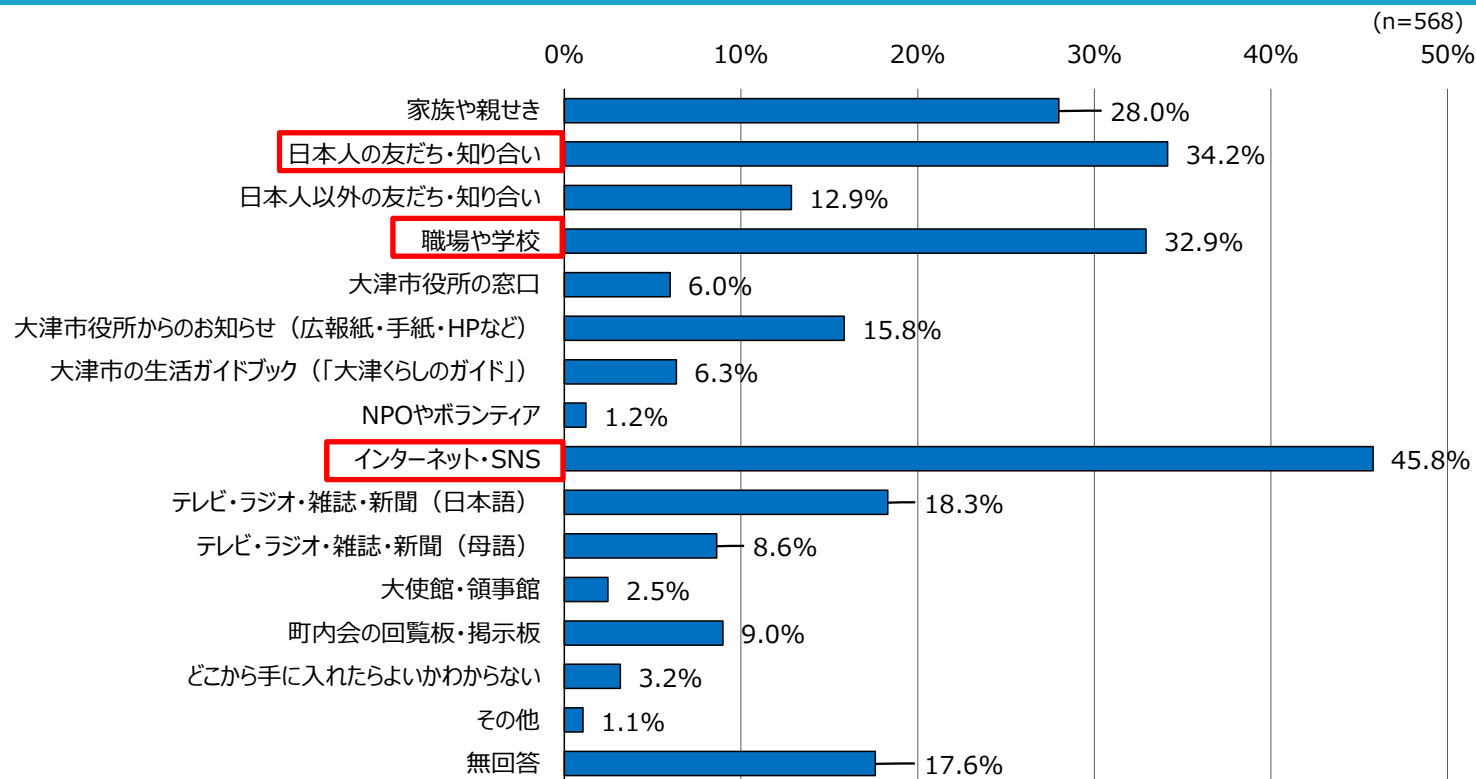
「日本語の教材（テキストやアプリケーション、動画サイトなど）を使って自分で学ぶ」が最も多く、次いで「ボランティアによる地域の日本語教室に通う（無料または費用が安い）」「ボランティアによるオンラインレッスンを受ける（無料または費用が安い）」となっている。



主な調査結果：生活の困りごと

問18 あなたは普段、暮らしに関する情報をだれから（どこから）手に入れていますか。（複数回答）

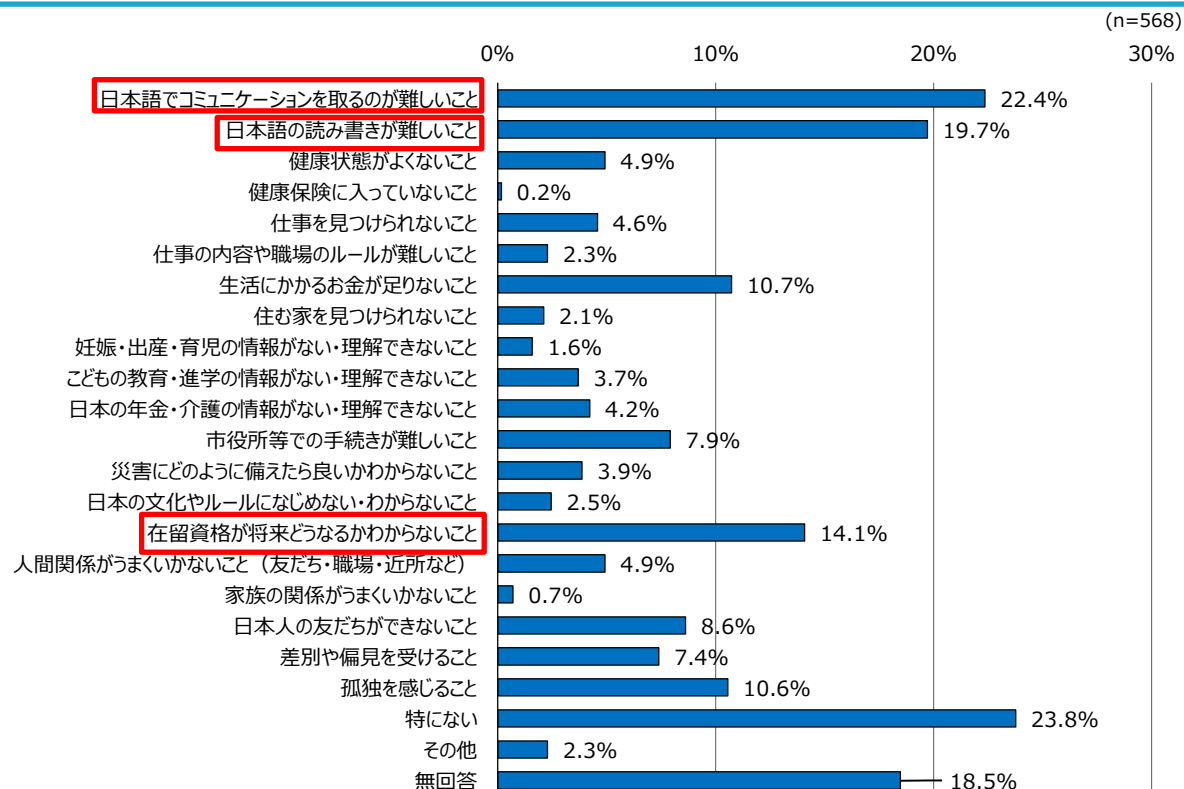
「インターネット・SNS」が最も多く、次いで「日本人の友だち・知り合い」「職場や学校」となっている。



主な調査結果：生活の困りごと

問19 あなたが生活する中で、いま困っていることや不安に感じていることは何ですか。（複数回答）

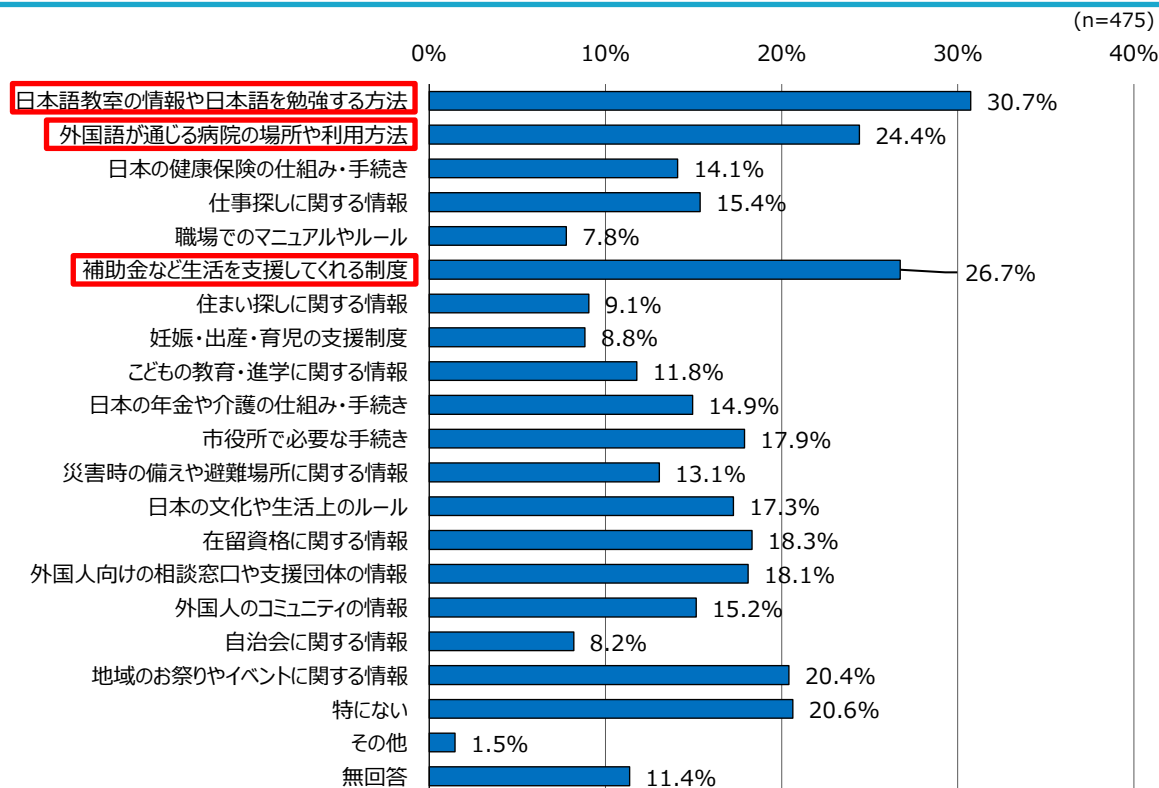
「特にない」が最も多いが、「その他」「無回答」を除くと、何らかの困りごとや不安を感じている人は5割以上いる。困っていることや不安に感じていることとして、「日本語でコミュニケーションを取るのが難しいこと」が最も多く、次いで「日本語の読み書きが難しいこと」「在留資格が将来どうなるかわからないこと」となっている。



主な調査結果：生活の困りごと

問20【母語が「日本語以外」の人のみ】あなたが母語で知りたいことは何ですか。（複数回答）

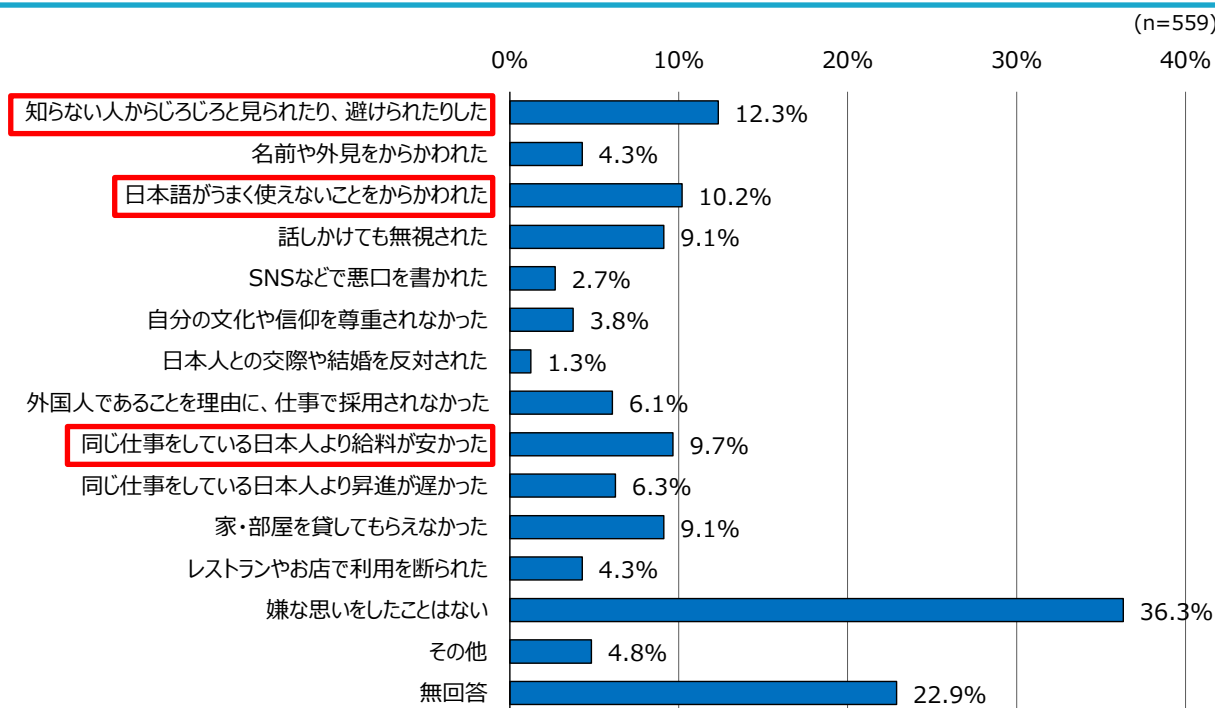
「日本語教室の情報や日本語を勉強する方法」が最も多く、次いで「補助金など生活を支援してくれる制度」「外国語が通じる病院の場所や利用方法」となっている。



主な調査結果：生活の困りごと

問21【「日本」以外の国籍の人のみ】あなたは外国にルーツがあることを理由に嫌な思いをしたことがありますか。（複数回答）

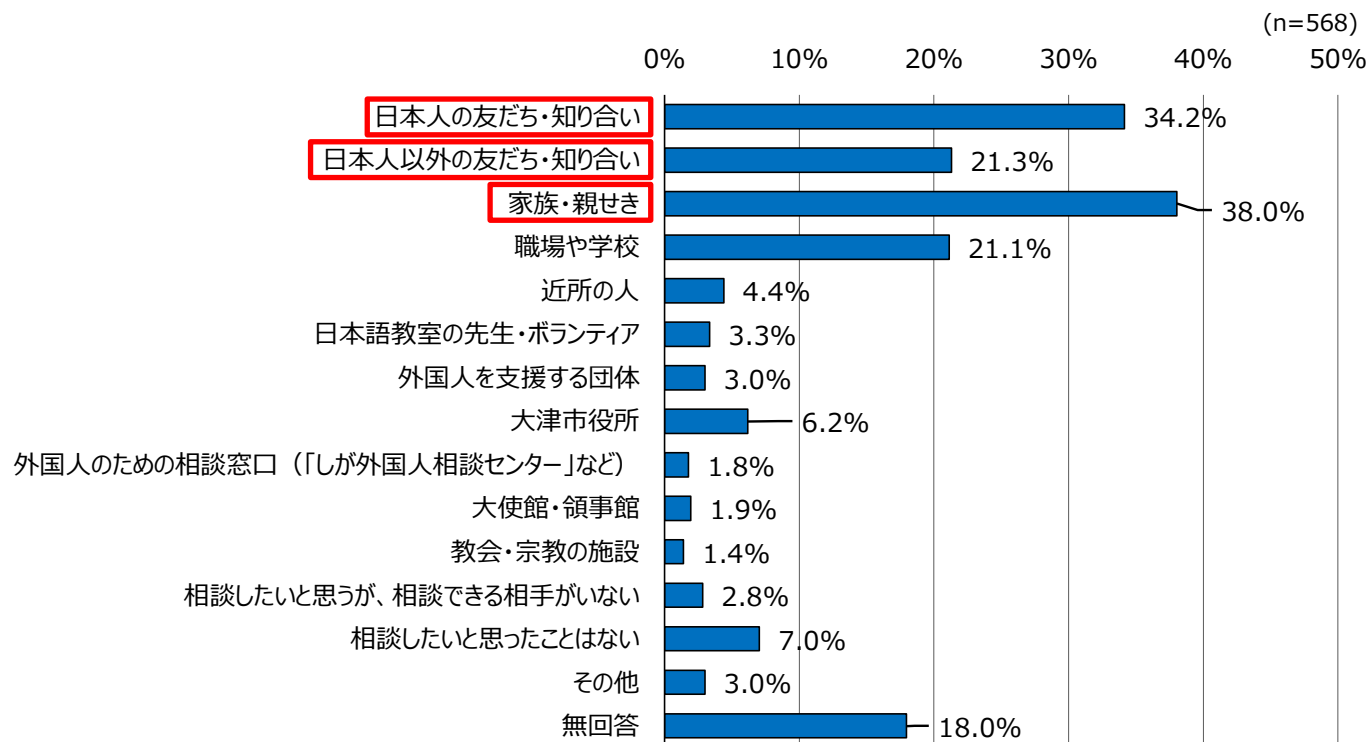
「嫌な思いをしたことがない」が最も多いが、「その他」「無回答」を除くと、何らか嫌な思いをした経験がある人は約4割いる。嫌な思いをした経験として、「知らない人からじろじろと見られたり、避けられたりした」が最も多く、次いで「日本語がうまく使えないことをからかわれた」「同じ仕事をしている日本人より給料が安かった」となっている。



主な調査結果（抜粋）

問22 あなたは普段困ったときに誰に相談しますか。（複数回答）

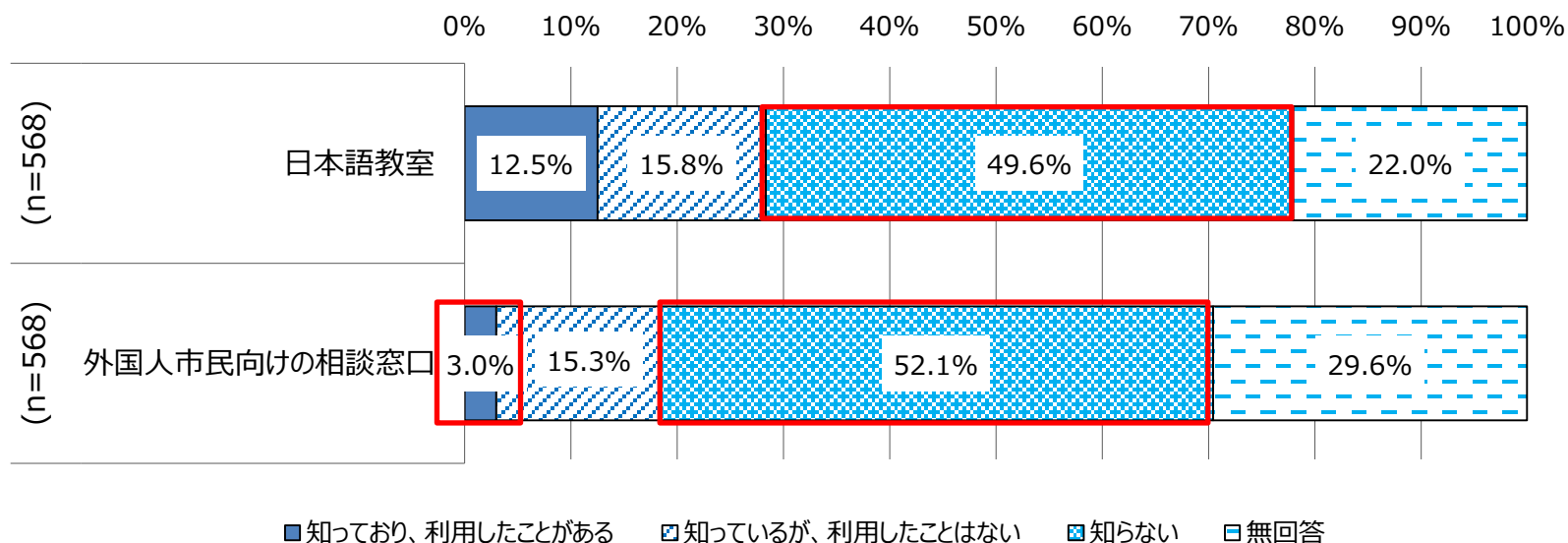
「家族・親せき」が最も多く、次いで「日本人の友だち・知り合い」「日本人以外の友だち・知り合い」となっている。



主な調査結果：生活の困りごと

問23 あなたは大津市に外国人市民向けの日本語教室や相談窓口があることを知っていますか。

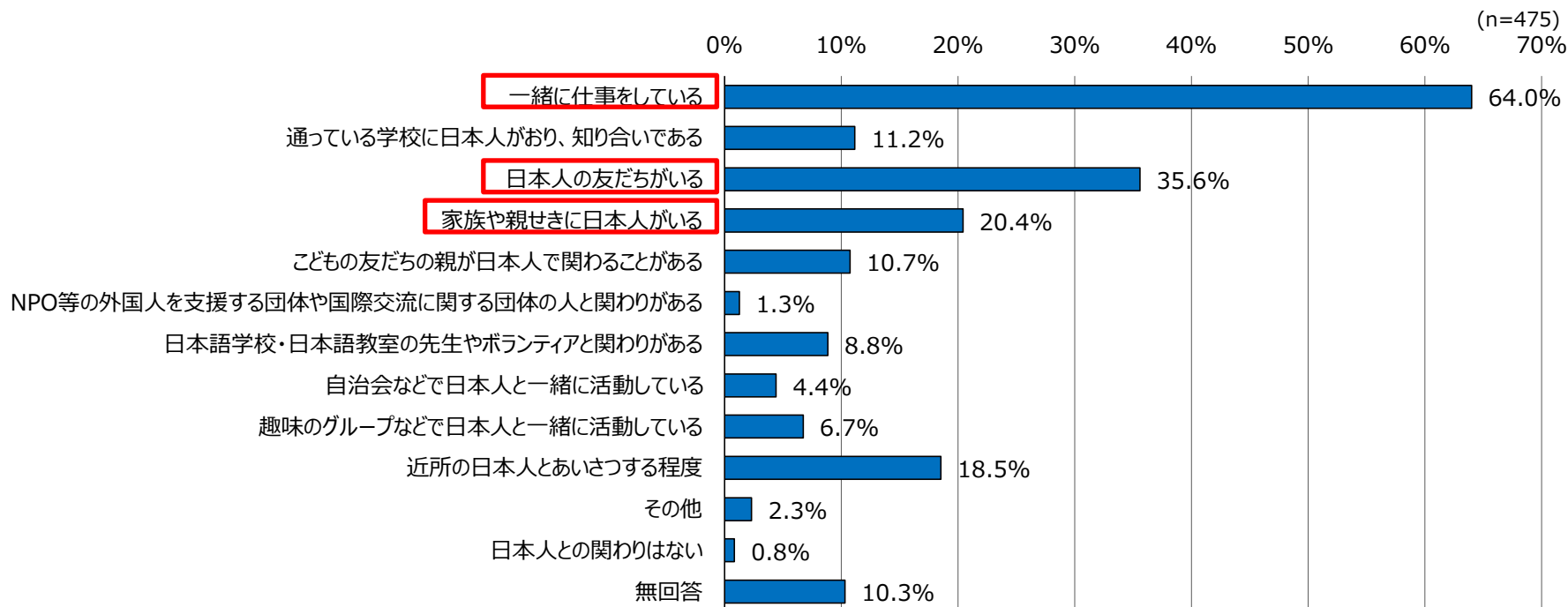
日本語教室、外国人市民向けの相談窓口ともに「知らない」が最も多くなっており、特に外国人市民向けの相談窓口は「知っており、利用したことがある」の割合が少ない。



主な調査結果：日本人との交流

問24 【母語が「日本語以外」の人のみ】あなたは普段の生活で日本人との関わりはありますか。
(複数回答)

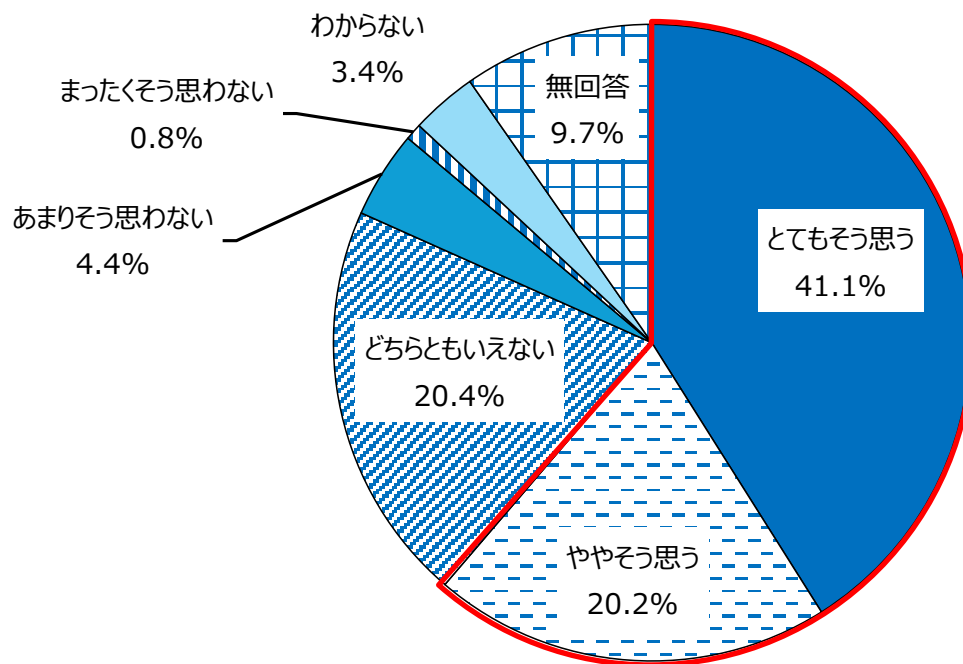
「一緒に仕事をしている」が最も多く、次いで「日本人の友だちがいる」「家族や親せきに日本人がいる」となっている。



主な調査結果：日本人との交流

問25【母語が「日本語以外」の人のみ】日本人市民と地域社会や仕事場、学校、イベントなどで交流や関わりを持ちたいと思いますか。

「とてもそう思う」「ややそう思う」の合計は61.3%、「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」の合計は5.2%となっている。

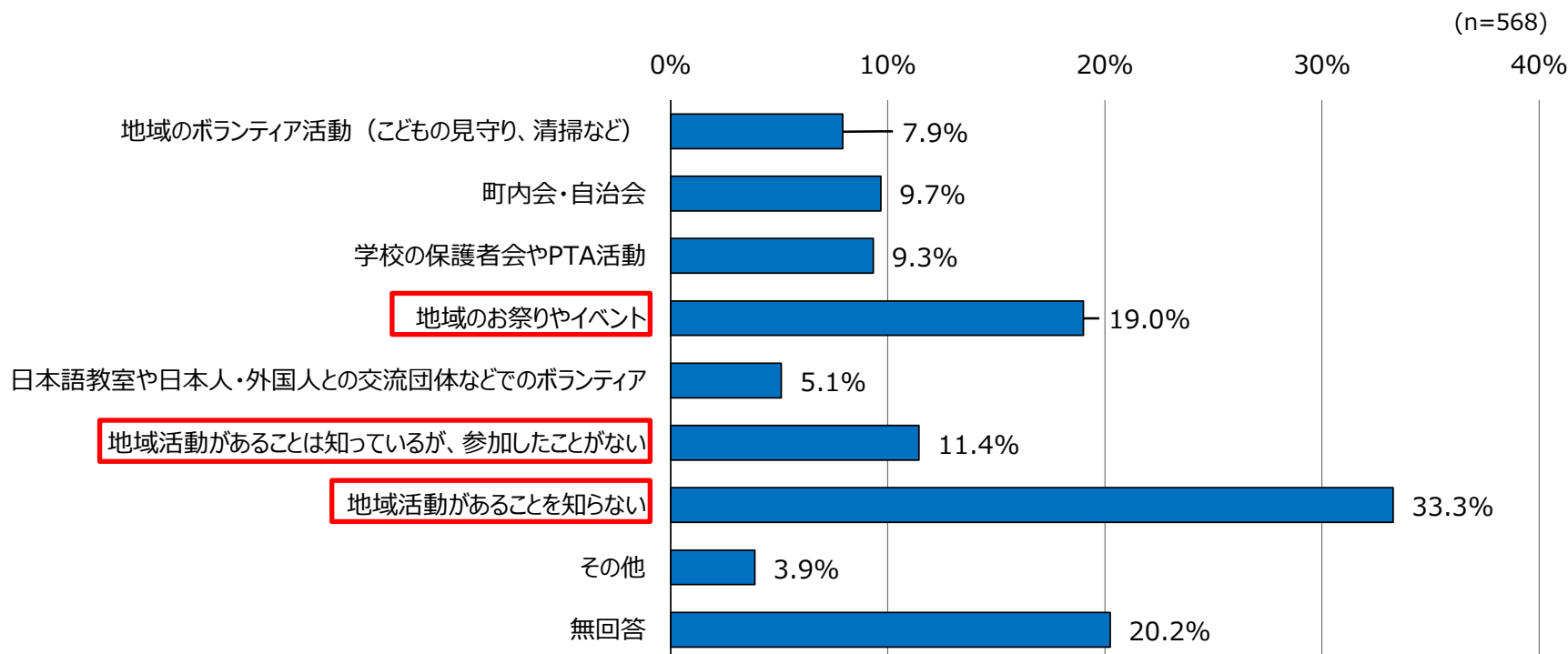


(n=475)

主な調査結果：日本人との交流

問26 あなたが大津市で参加したことがある地域活動を教えてください。（複数回答）

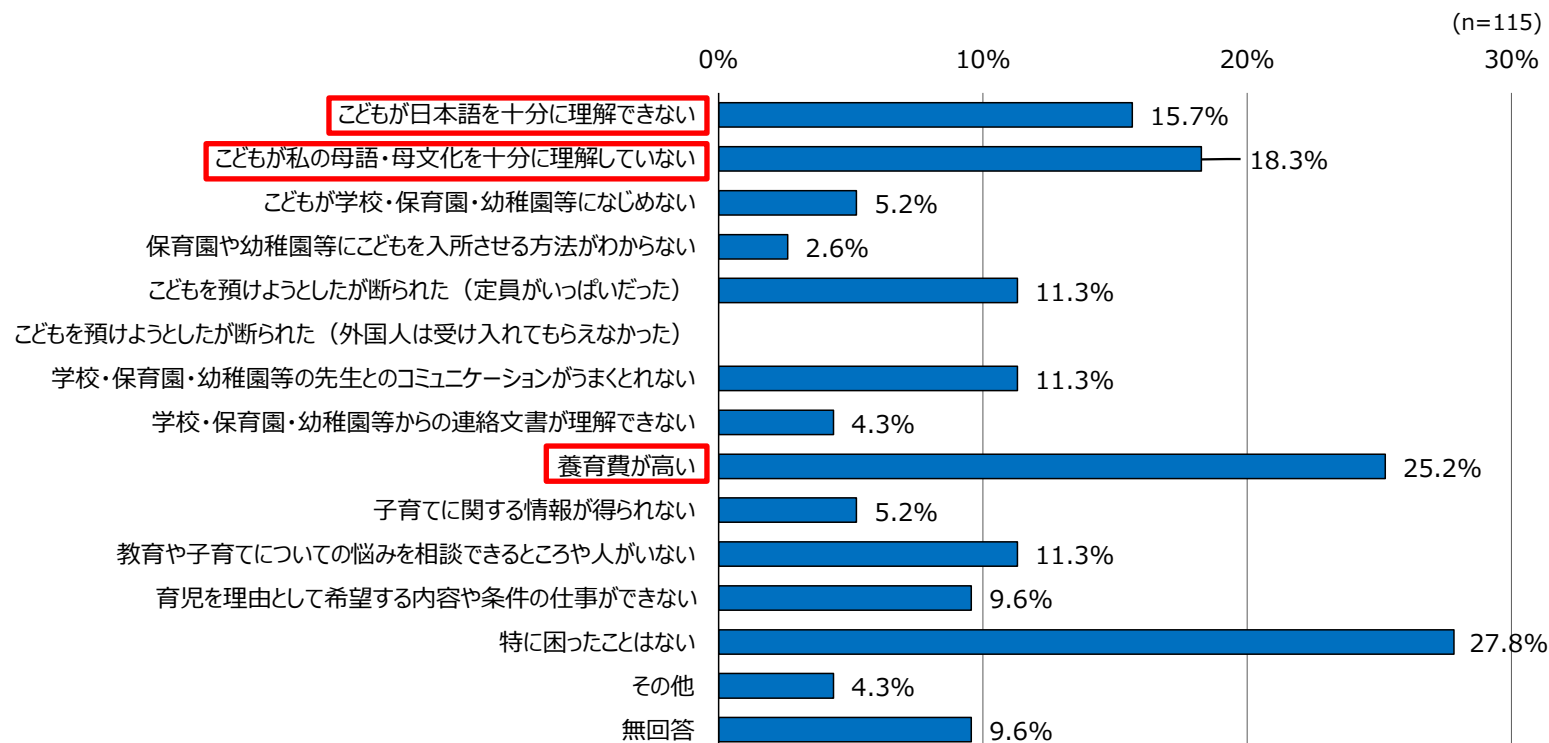
「地域活動があることを知らない」が最も多く、次いで「地域のお祭りやイベント」「地域活動があることは知っているが、参加したことがない」となっている。



主な調査結果：こども、子育て

問29 【18歳以下のこどもがいる人のみ】あなたが子育てについて困っていることを教えてください。 (複数回答)

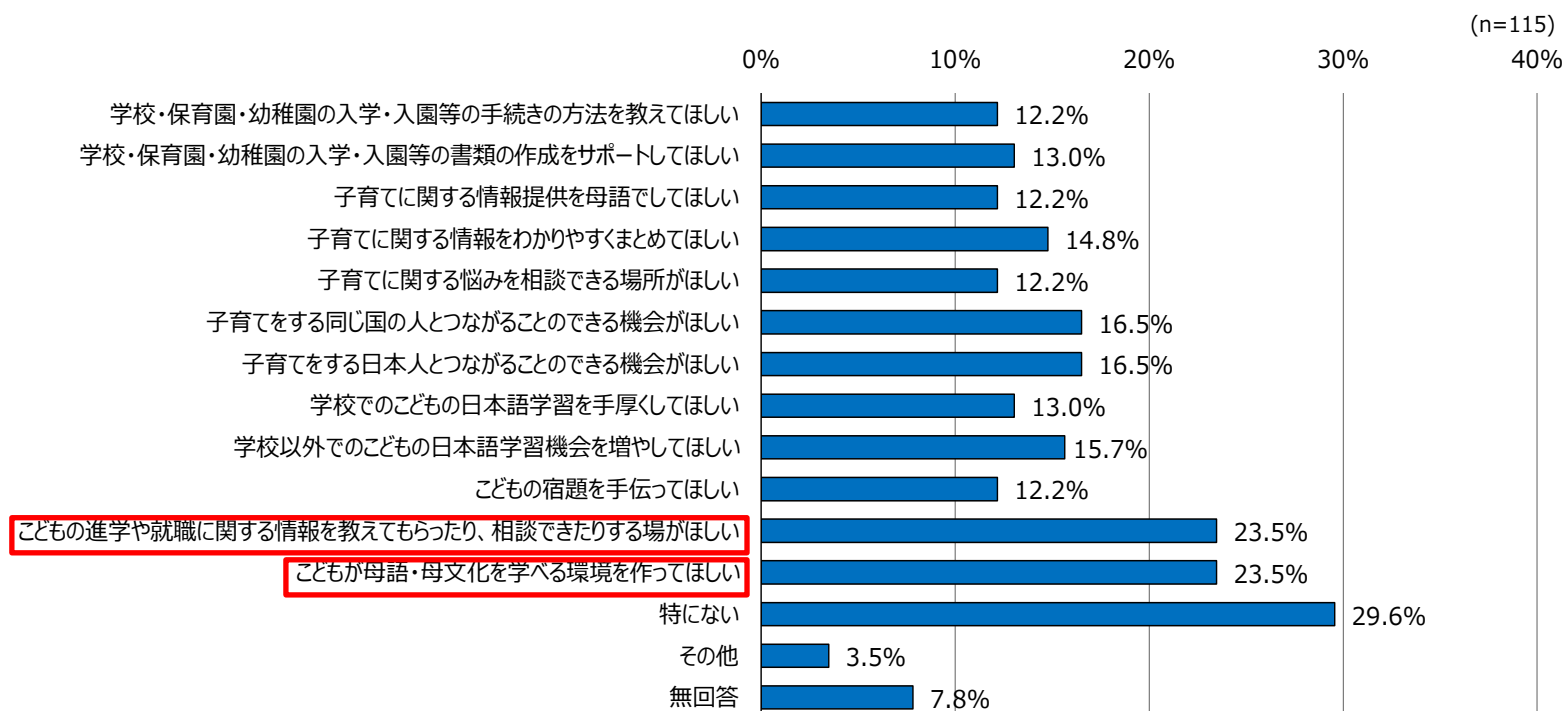
「特に困ったことはない」が最も多いが、「その他」「無回答」を除くと、子育てについて何らかの困りごとがある人は約6割いる。子育てについて困っていることとして、「養育費が高い」が最も多く、次いで「こどもが私の母語・母文化を十分に理解していない」「こどもが日本語を十分に理解できない」となっている。



主な調査結果：こども、子育て

問30 【18歳以下のこどもがいる人のみ】子育てについて、あったら良いと思うサポートについて教えてください。（複数回答）

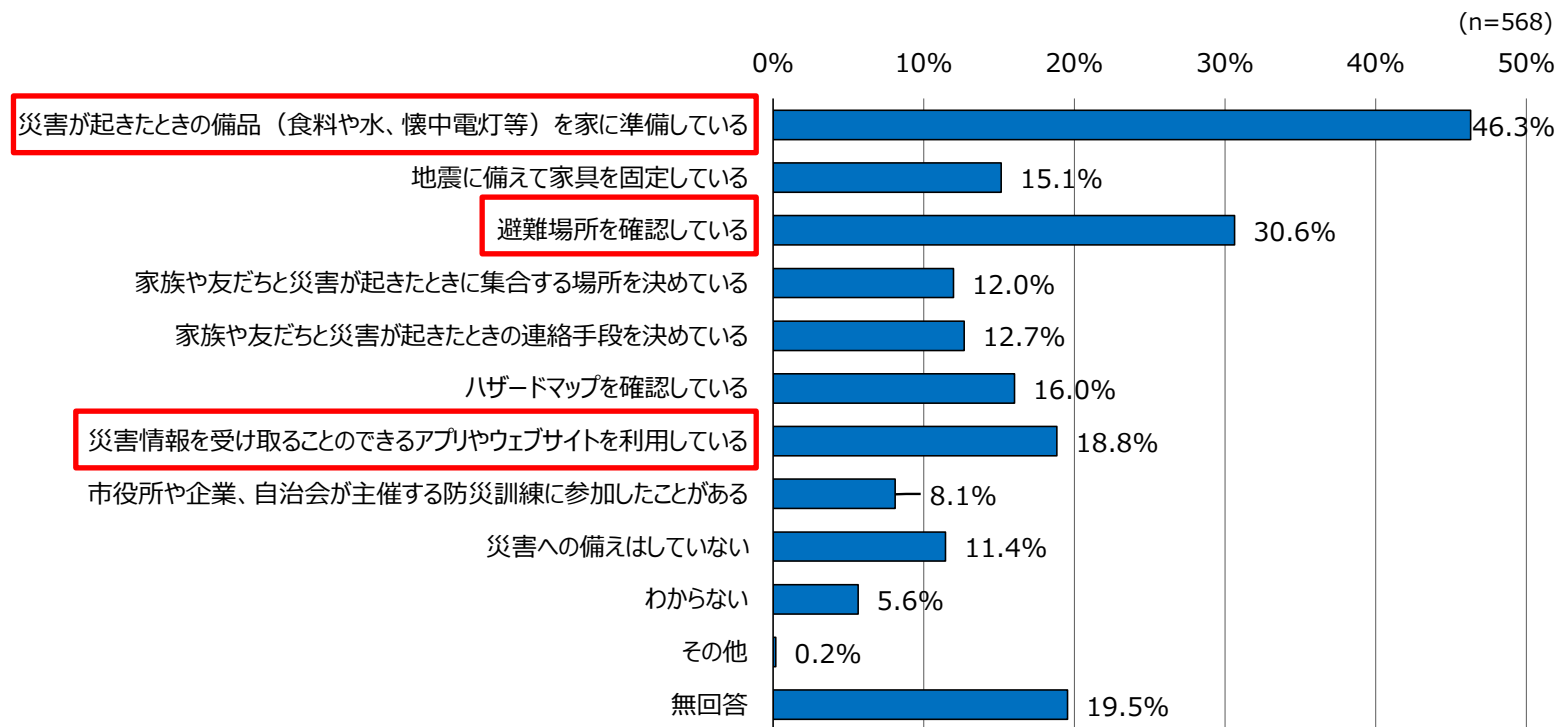
「特にない」が最も多いが、「その他」「無回答」を除くと、子育てについて何らかのサポートがほしいと思っている人は約6割いる。あったら良いと思うサポートとして、「こどもの進学や就職に関する情報を教えてもらったり、相談できたりする場がほしい」「こどもが母語・母文化を学べる環境を作してほしい」が最も多くなっている。



主な調査結果：防災について

問31 あなたはどのように災害（地震や洪水など）への備えをしていますか。（複数回答）

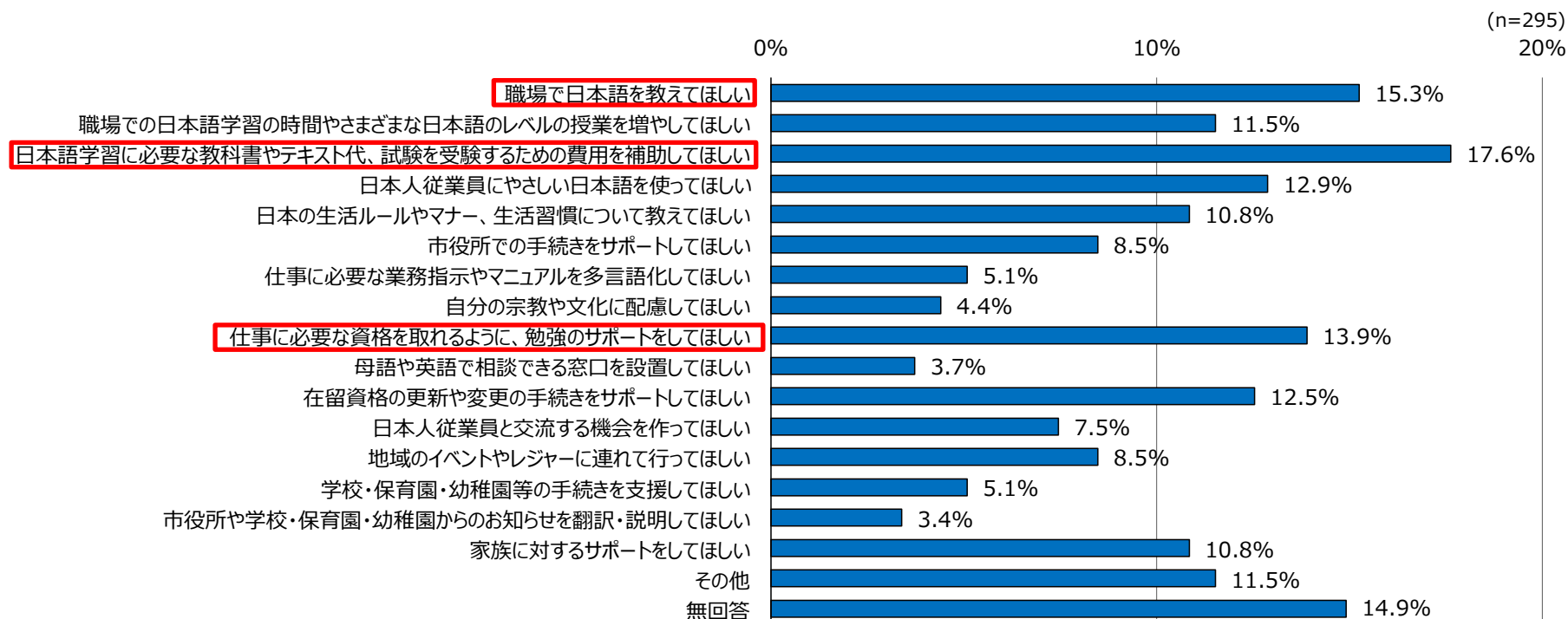
「災害が起きたときの備品（食料や水、懐中電灯等）を家に準備している」が最も多く、次いで「避難場所を確認している」「災害情報を受け取ることのできるアプリやウェブサイトを利用している」となっている。



主な調査結果：仕事について

問34【母語が「日本語以外」かつ「正社員」「契約社員」「派遣社員」「アルバイト・パート」「技能実習生」のみ】あなたが働いている今の職場から特に受けてみたいサポートを3つまで教えてください。

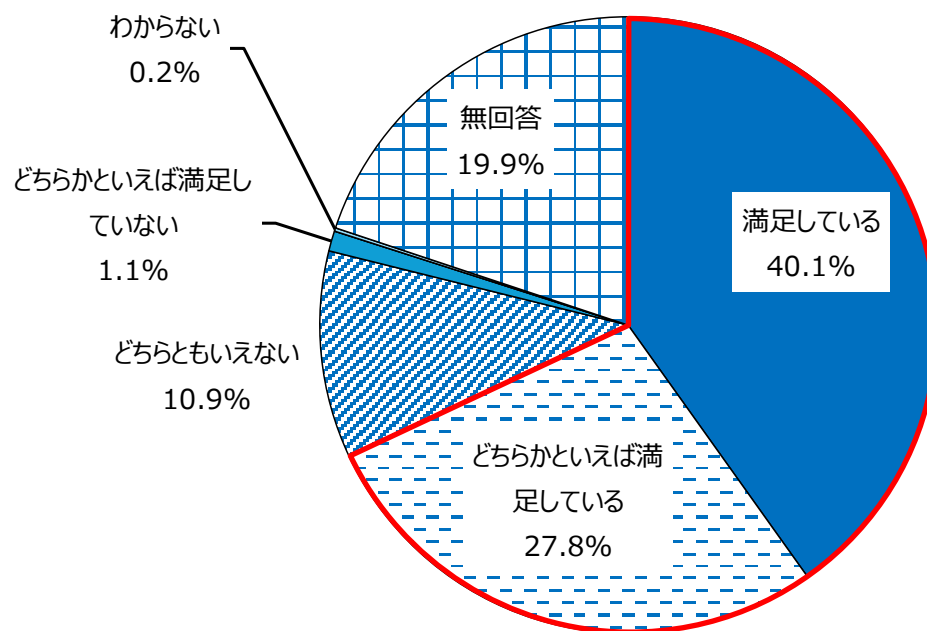
「日本語学習に必要な教科書やテキスト代、試験を受験するための費用を補助してほしい」が最も多く、次いで「職場で日本語を教えてほしい」「仕事に必要な資格を取れるように、勉強のサポートをしてほしい」となっている。



主な調査結果：大津市での生活

問35 あなたは大津市での生活に満足していますか。

「満足している」「どちらかといえば満足している」の合計は67.9%、「どちらかと言えは満足していない」は1.1%（「満足していない」は0%）となっている。

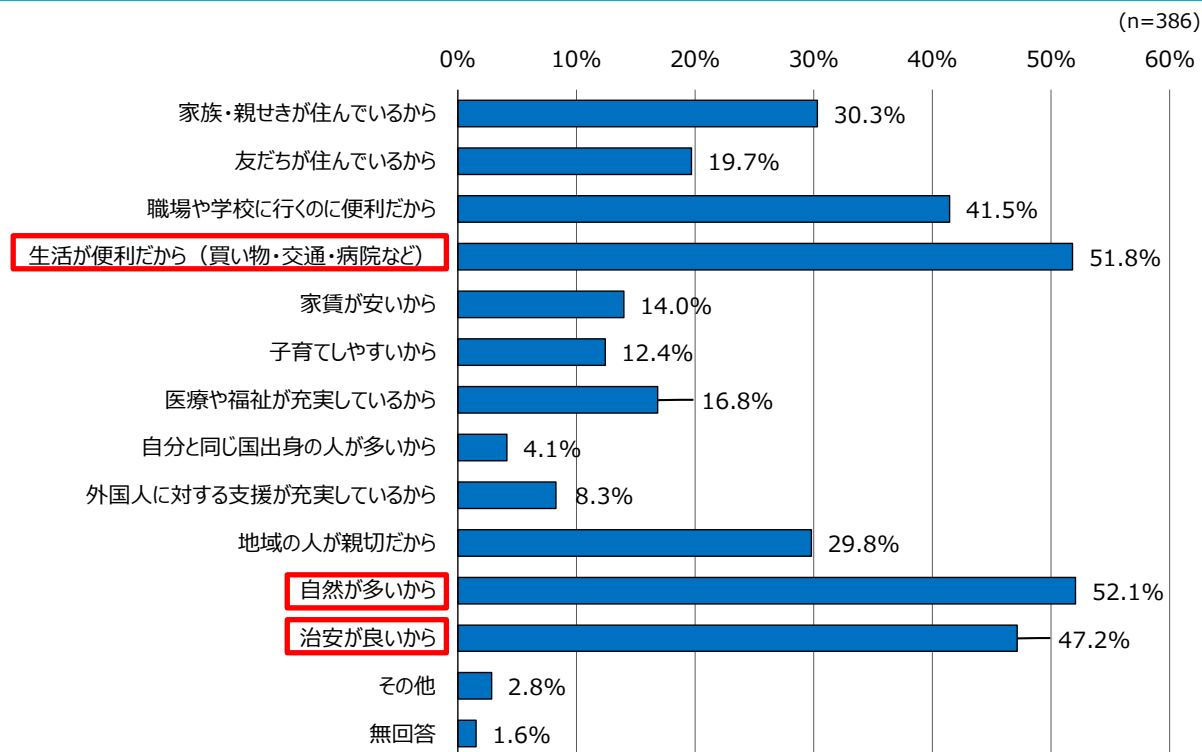


(n=568)

主な調査結果：大津市での生活

問36【問35で「満足している」「どちらかと言えば満足している」と答えた場合】その理由を教えてください。（複数回答）

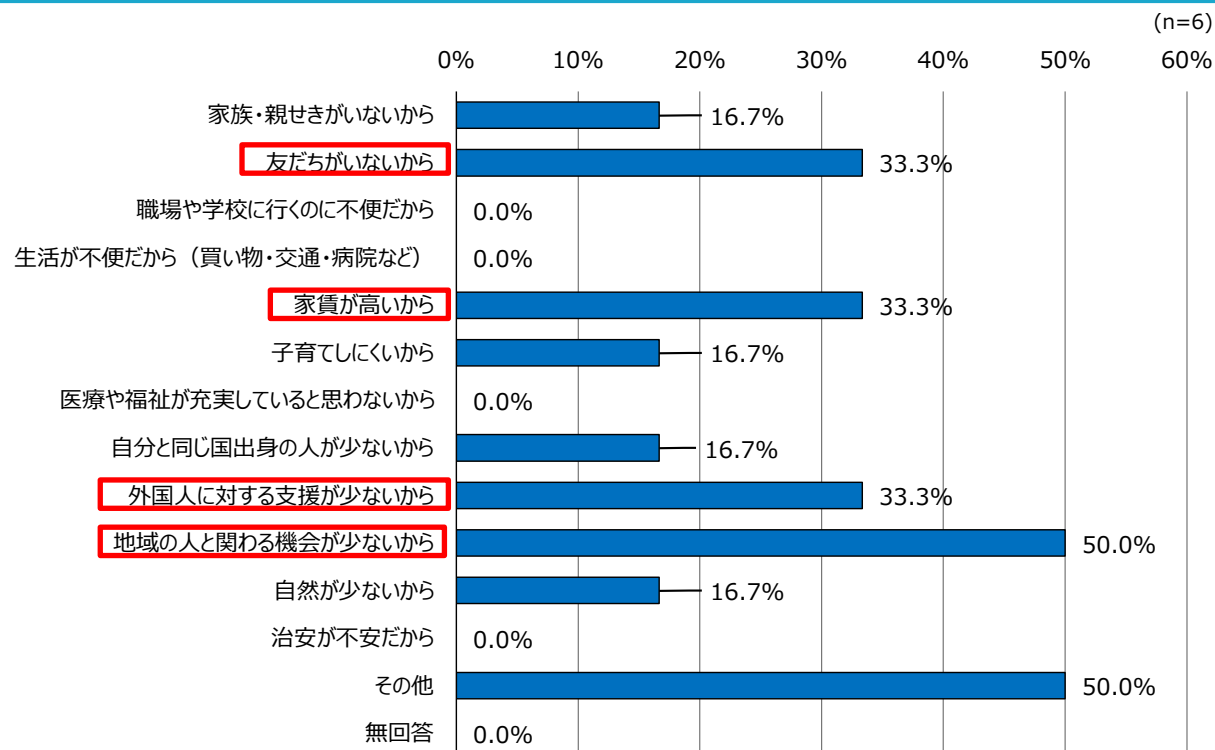
「自然が多いから」が最も多く、次いで「生活が便利だから（買い物・交通・病院など）」「治安が良いから」となっている。



主な調査結果：大津市での生活

問37【問35で「満足していない」「どちらかと言えば満足していない」と答えた場合】その理由を教えてください。（複数回答）

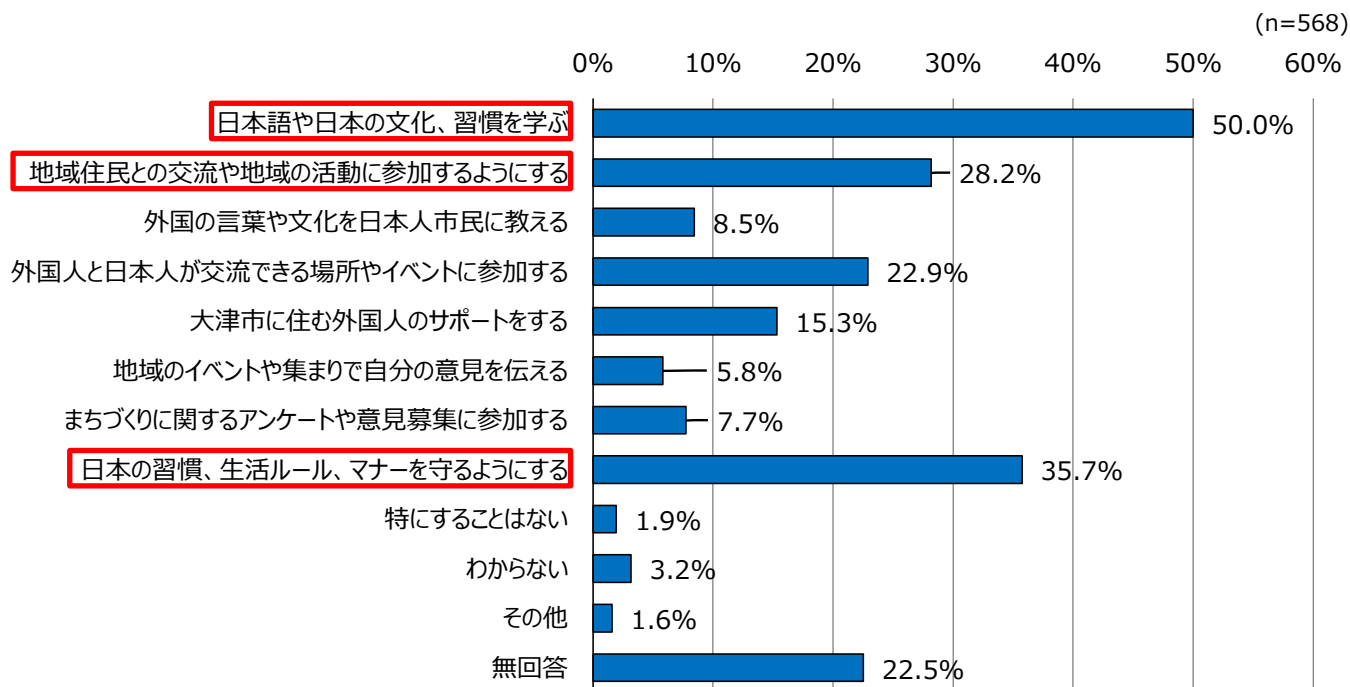
「その他」を除くと、「地域の人と関わる機会が少ないから」が最も多く、次いで「友達がいないから」「家賃が高いから」「外国人に対する支援が少ないから」となっている。



主な調査結果：地域社会づくり

問38 日本人市民と外国人市民が共に安心して暮らし活躍できる地域社会にしていくために、「外国人市民」は何をしたらよいと思いますか。（3つまで）

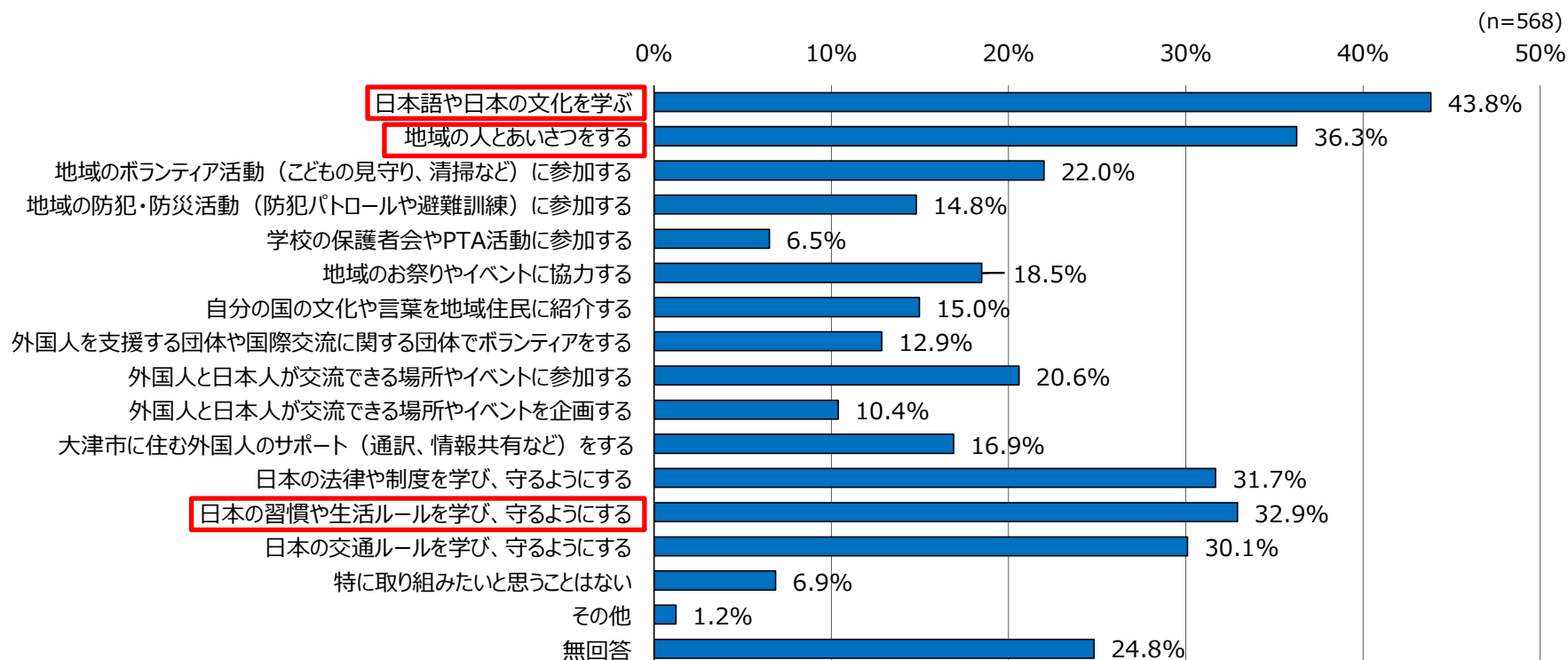
「日本語や日本の文化、習慣を学ぶ」が最も多く、次いで「日本の習慣、生活ルール、マナーを守るようにする」「地域住民との交流や地域の活動に参加するようになる」となっている。



主な調査結果：地域社会づくり

問40 日本人市民と外国人市民が共に安心して暮らし、活躍できる地域社会に向けて、あなたが今後、取り組みたいと思うことを教えてください。（複数回答）

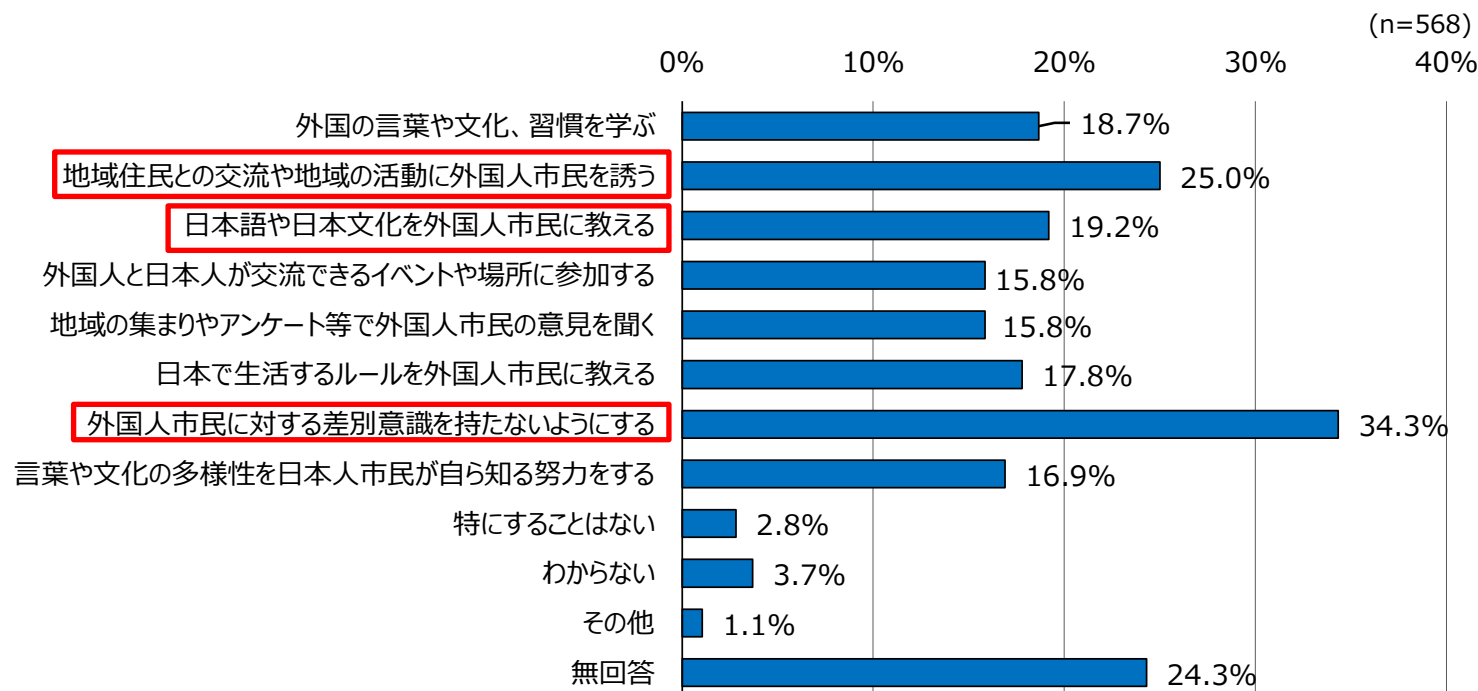
「日本語や日本の文化を学ぶ」が最も多く、次いで「地域の人とあいさつをする」「日本の習慣や生活ルールを学び、守るようにする」となっている。



主な調査結果：地域社会づくり

問41 日本人市民と外国人市民が共に安心して暮らし、活躍できる地域社会にしていけるために、「日本人市民」は何をしたらよいと思いますか。（3つまで）

「外国人市民に対する差別意識を持たないようにする」が最も多く、次いで「地域住民との交流や地域の活動に外国人市民を誘う」「日本語や日本文化を外国人市民に教える」となっている。

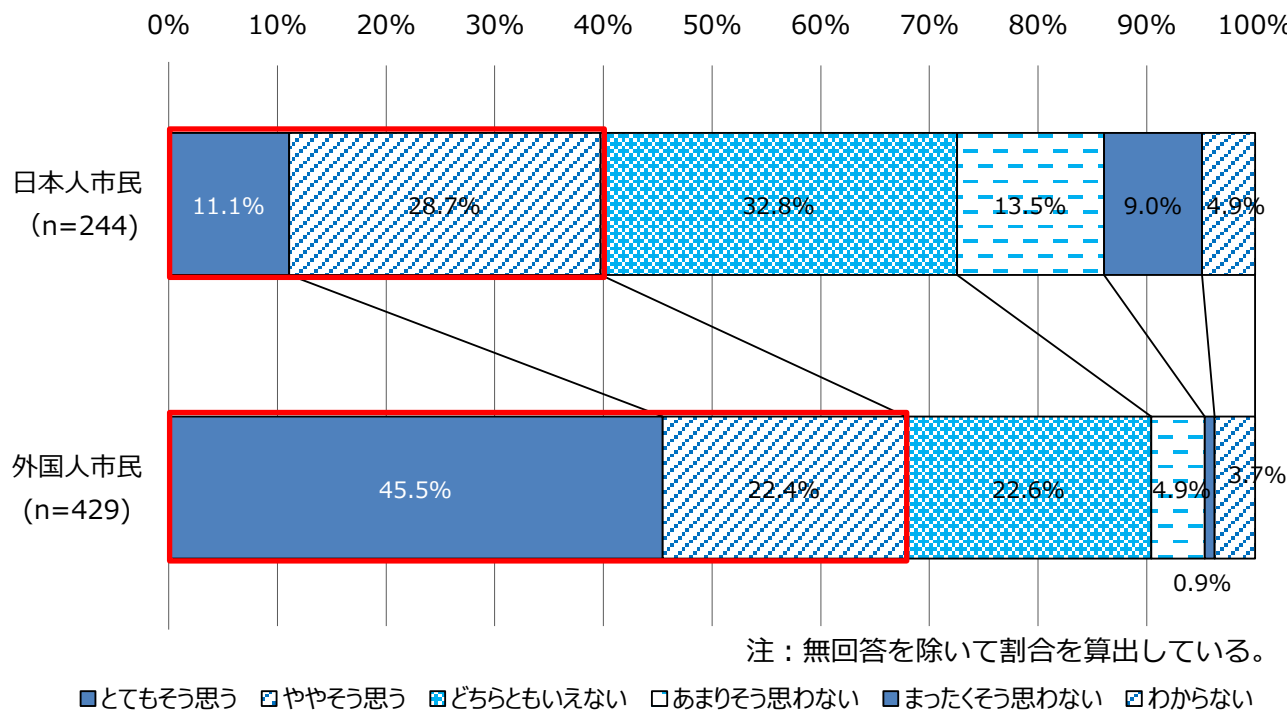


共通設問の集計結果比較

交流や関わりへの意向

【日本人：問12 外国人：問25】あなたは、「外国人市民/日本人市民」と地域社会や仕事場、学校、イベントなどで、交流や関わりを持ちたいと思いますか。

「とてもそう思う」「ややそう思う」の合計は、日本人市民では39.8%、外国人市民では67.8%となっており、大きな差異がみられる。

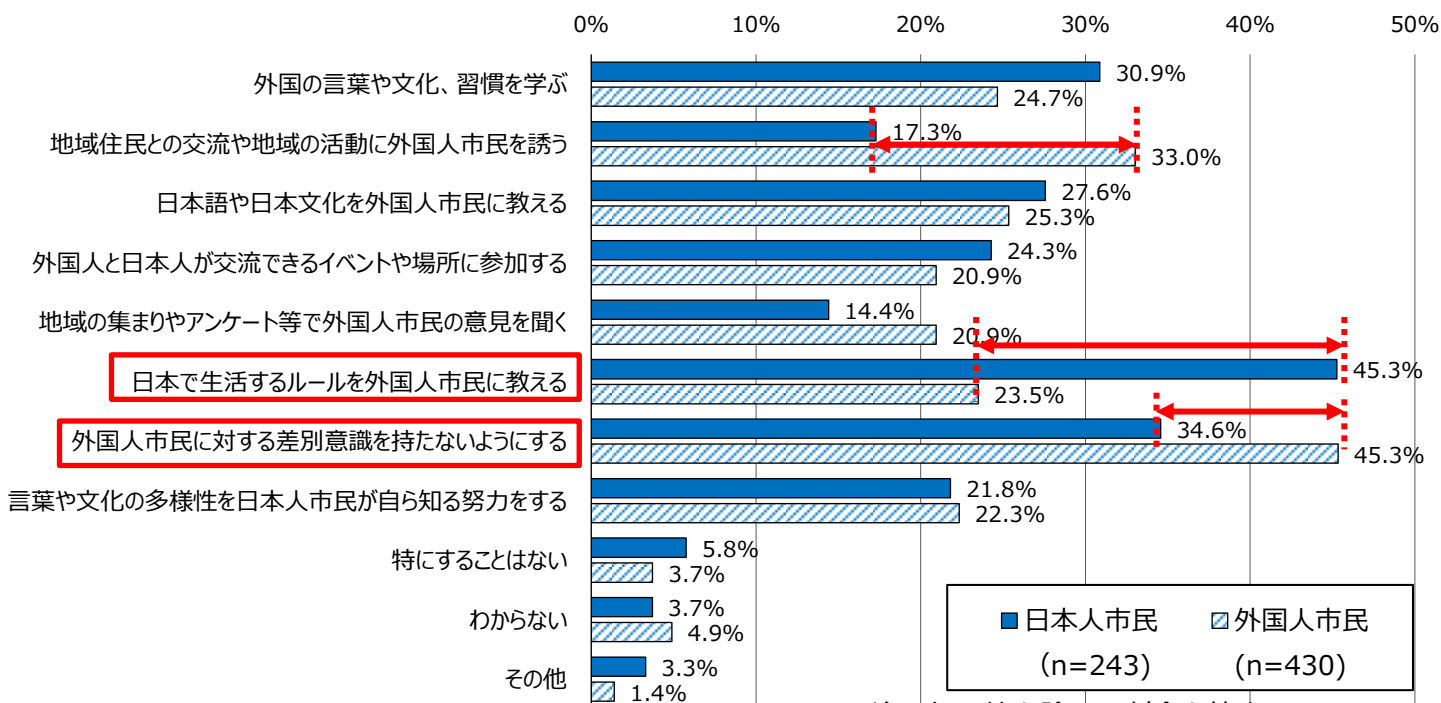


※四捨五入の関係により、「合計」と「内訳の合計」に、見かけ上の不一致が生じている。

日本人市民の取組

【日本人：問19 外国人：問41】日本人市民と外国人市民が共に安心して暮らし、活躍できる地域社会にしていくために、「日本人市民」は何をしたらよいと思いますか。（3つまで）

日本人市民は「日本で生活するルールを外国人市民に教える」をことを重視し、外国人市民は「外国人市民への差別意識を持たないようにする」を重視している。これらの選択肢の回答と「地域住民との交流や地域の活動に外国人市民を誘う」において、日本人・外国人のギャップが特に大きい。

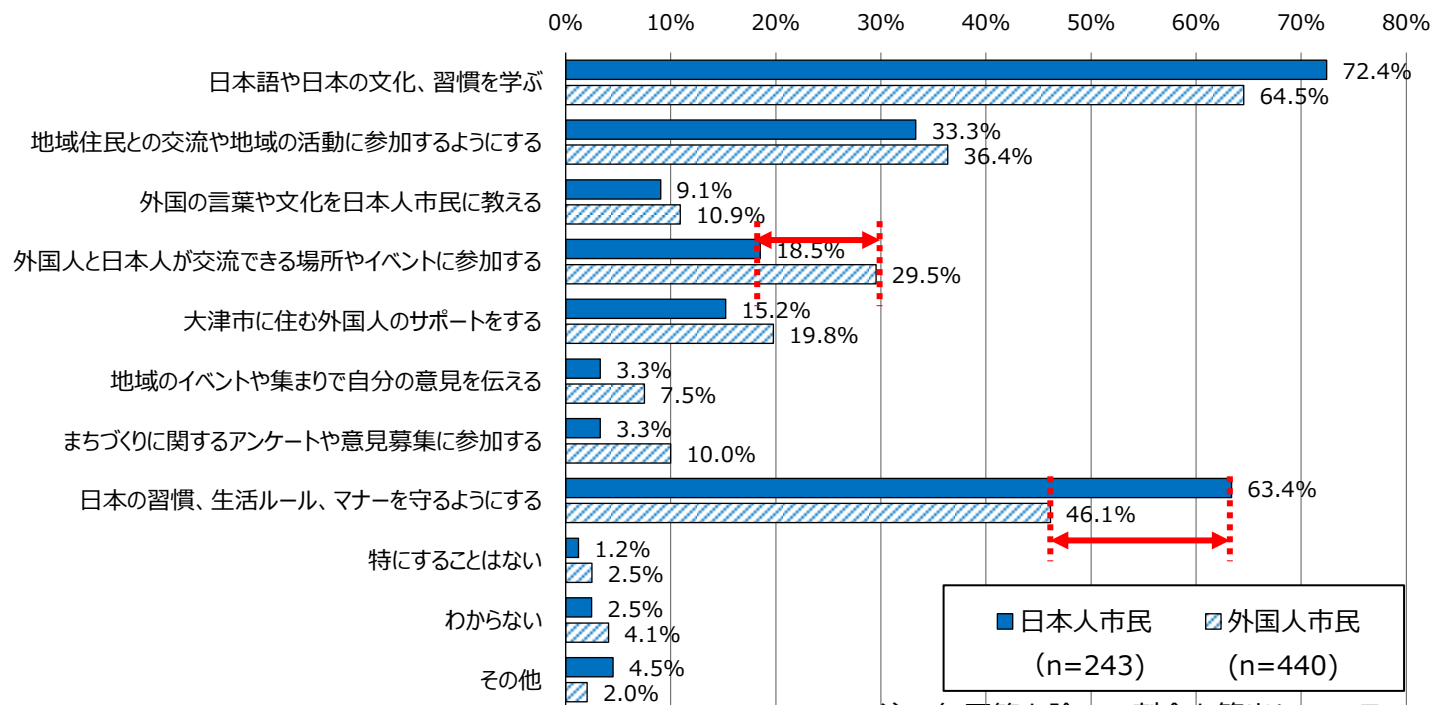


注：無回答を除いて割合を算出している。

外国人市民の取組

【日本人：問18 外国人：問38】日本人市民と外国人市民が共に安心して暮らし、活躍できる地域社会にしていくために、「外国人市民」は何をしたらよいと思いますか。（3つまで）

日本人市民・外国人市民ともに「日本語や日本の文化、習慣を学ぶ」及び「日本の習慣、生活ルール、マナーを守るようにする」を重視している。また、「日本の習慣、生活ルール、マナーを守るようにする」と「外国人と日本人が交流できる場所やイベントに参加する」において、日本人・外国人のギャップが大きい。



注：無回答を除いて割合を算出している。